ISSN　0285-130X　旬刊　５、15、25日発行（１部200円(税別)）

# 廣島縣醫師會速報

2025年(令和７年)10月25日号　第2639号

## 1 令和7年度 第1回医会会長会議
各医会の活動状況などについて情報共有

## 4 令和7年度 中国地区学校保健・学校医大会
学校保健の現状や課題を共有


9　理事会記事（9月30日）

11　会員へのお知らせ
令和7年10月以降の電子処方箋の導入補助
ホームページのメンテナンス等についてのお知らせ
令和8年度　産業医学調査研究助成事業　助成希望者募集のご案内　他

19　社保の栞　交通事故等の該当レセプトへの記載に関するお願い

21　広島県地域医療支援センターだより

22　介護保険の窓　e-資料　通達文書（介護保険関係）掲載情報

23　医事紛争委員会だより（ワンポイントアドバイス）⑯　～ガーゼの腹腔内遺残に注意しましょう！～

25　勤務医ニュース　外科医の働き方改革と日々の取り組み（日本鋼管福山病院　神原　健）

26　禁煙コーナー　マツダスタジアム敷地内禁煙化を、もちろんエディオンピースウイングも（広島県医師会禁煙推進委員会委員　安藤　仁）

28　会員の声　書籍紹介 山下武志著「3秒で心電図を読む本」（産業医　吉岡　嘉暁）

30　廣島醫学コーナー　（第78巻10号）

31　広島県医師協同組合情報　広島県医師協同組合組合員・賛助会員限定 新築マンション購入割引制度をご利用ください

32　募集コーナー

51　学術講演会・学会ガイド（10月25日～11月24日）

52　学術講演会

56　学会案内
第78回広島医学会総会
日本医師会認定健康スポーツ医再研修会　県民フォーラム
令和7年度自賠責研修会（WEB配信）　他

67　編集室　素晴らしきかな、日本人！（天野　純子）

会員の先生方は、e-広報室から
カラーで速報を閲覧できます。

## 11月9日～11月15日は糖尿病週間
## “ダイアベティスウィーク”
### 広島県でも各地でブルーライトアップを実施します。

11月14日は国際連合が指定した“World Diabetes Day”（世界糖尿病デー）です。毎年、世界各国、全国各地の建造物が糖尿病啓発のシンボルカラーであるブルーにライトアップされています。

啓発ポスターは本会HPからダウンロードできますので、この機会に患者さんへお声かけいただき、糖尿病に対する注意喚起と意識啓発にご協力くださいますようお願いいたします。

※ポスターは、本号の付録として送付しております。
問合せ先：広島県医師会糖尿病対策推進会議
（広島県医師会地域医療課、TEL：082-568-1511）

# 令和7年度 第1回医会会長会議

## －各医会の活動状況などについて情報共有－

と　き　令和7年8月22日㈮　午後7時
ところ　広島アンデルセン　デンマークルーム

広島県医師会　会　　長　松村　　誠
広島県医師会　副 会 長　玉木　正治
広島県医師会　常任理事　茗荷　浩志

開会の挨拶を述べる松村誠広島県医師会会長（中央）

県単位の各医会会長と一堂に会し、「オール広島の広島県医師会」体制の推進を目的に、令和7年度第1回会議を開催した。会議では、令和8年度広島県医療行政施策提案要望（案）を報告後、各医会の現況報告が行われた。

## 挨　拶（要旨）

広島県医師会会長　松村　誠

年に2回開催している医会会長会議は、今回で記念すべき第10回を迎える。これまでのご協力に深く感謝申し上げる。この会議は、広島県の医療に関する提言を伺う上で極めて重要な場であり、今回は特に来年度予算に関する県知事要望の内容についてお伺いしたい。医療提供は安定した経営基盤なくして成り立たないため、現場からの貴重なご意見を賜り、それを新しい広島県知事への要望提案に反映させていきたいと考えている。

## 報告・協議事項

### (1)　令和8年度広島県医療行政施策提案要望について

今年度は広島県内科会、広島県眼科医会、広島県耳鼻咽喉科医会、広島県小児科医会、広島県産婦人科医会から16件の要望をいただいた。いずれも重要な要望であり、今後、広島県関係部局との事前協議、理事会での協議・承認を経て、広島県知事および広島県議会議長へ正式に提案・要望を行う予定である。

### (2)　各医会の現況について

広島県内科会会長　増岡　俊治

令和7年4月1日時点で個人会員402名、施設会員42

施設、日本臨床内科医会会員335名である。5月24日㈯に開催した総会において役員改選が行われ、会長を続投することとなった。当会では、6月に希少疾患に関する講演会を開催し、「内科の日」のイベントとして、来年7月の開催を目指して、日本臨床内科医会および日本内科学会と企画中である。

また、日本臨床内科医会役員として副会長（1名）、理事（参与）1名、代議員4名、各委員会などに7名が参画し活動している。

●●●

**広島県精神神経科診療所協会会長**
**田村　達辞**

令和7年3月現在、会員数は93名である。今年度は4月に定時総会を、7月に学術講演会を開催した。また、今年度もこころの健康よろず相談を10月5日㈰広島会場、10月19日㈰福山会場で開催予定であるが、最近は無料相談を実施できる会場確保に苦戦している。

昨年12月にリーフレットを発行し配布しているため、ご要望があればぜひご連絡いただきたい。

●●●

**広島県小児科医会会長　西村　真一郎**

会員数は267名である。令和7年度は理事会と総会を開催し特別講演や議事を行った。さらに広島県知事にワクチン接種に関する要望書を提出した。また、5歳児健診に関する行政との意見交換会は60名が参加するなど、地域小児医療の課題解決に努めている。

●●●

**広島外科会会長　浅原　利正**

昭和9年設立、703名（令和6年度）が所属し、外科診療の発展と親睦を目的に活動している。令和7年度は総会・学術集会の開催のほか、若手外科医の派遣や待遇改善を推進した。また、臨床外科医学会賞や奨学金制度により若手の研鑽を支援し、次世代育成と地域医療の充実に努めている。

●●●

**広島県臨床整形外科医会会長　大瀬戸　政司**

会員186名で活動している。JCOA（日本臨床整形外科学会）において自賠責診療費算定基準制度化の取り組みが進められている。同基準は当面の間は、関係省庁・関係団体との調整を図り、労災保険にならい金融庁や国土交通省等の担当部署の通知等によって、同算定基準を制度化するのが現実的である。これにより、損保会社の健康保険誘導を防ぐことができ、また医業類似行為についても適正化を図ることが可能となる。 そのほか、全国一斉市民公開講座（令和8年11月29日㈰）への参画や、骨と関節の日講演会や研修会を通じ地域医療の啓発と整形外科診療の向上に努めている。

●●●

**広島県臨床泌尿器科医会代表　瀬尾　一史**

県内の泌尿器科医会は福山泌尿器科会、呉泌尿器科会が活動している。福山市では腎悪性腫瘍に対するロボット支援手術を取り上げ、第72回学術講演会（7月16日㈬）を開催した。呉市でも3月に学術講演会を実施した。県内会員13名が所属する日本オフィスウロロジー医会も活動しており、一緒になって取り組んでいくことを検討したい。

●●●

**広島県眼科医会会長　竹田　欣史**

会員371名で、令和6年度は 会報発行やスタッフ講習会、総会を開催した。今後10月5日㈰に「ひろしま眼科（アイ）フォーラム」を開催し、視覚障害者・関係者を対象にしたロービジョンの集いや、市民を対象にした目の健康講座を開催する。常任理事会や各種全国会議にも参加し、地域と全国の眼科医療発展に寄与していく。

●●●

**広島県耳鼻咽喉科医会会長　佐藤　修治**

会員242名で活動している。令和6年度は総会・学術講演会や児童健康診断、相談会を実施した。頭頸部外科月間では市民公開講座を行い、啓発ポスターを配布した。また症例検討会、花粉アレルギー研究会などを開催しており、今後も地域住民への啓発と学術活動に努めていく。

●●●

**広島県産婦人科医会会長　豊田　紳敬**

現在会員231名で、令和6年度は 定例研修会（9回開催、395名参加）や学術講演会を開催している。また、メディア活動のほか行政との母子保健や子宮頸がん検診に関する意見交換を行っている。HPVワクチンの普及に向けては広島県小児科医会・広島県内科会・広島県耳鼻咽喉科医会・広島県医師会とともに、県民・定期接種世代への周知を図っている。今後は大学・学会との連携強化と医師確保に努めていく。

最後に玉木正治副会長が閉会挨拶を行い会は

終了した。

## 会長コメント

令和7年度第1回医会会長会議は、新たに広島県小児科医会の西村真一郎会長をお迎えし、各医会より活動をご報告いただき、活発な情報交換が行われた。とりわけ、一部医会においては共通の課題に対し連携して取り組まれており、本会議が大変有意義な場となっていることに感謝申し上げる。

今後も医会・医師会、広島県、広島大学の「官・学・民」が一体となりオール広島で各種施策を強力に推進していくためにも、引き続き、医会役員ならびに会員の皆様方のご理解とご協力をお願いする。広島県医師会は「会員支援日本一の医師会」とすべく、さらなる取り組みを進めてまいる。引き続き、本会に忌憚のないご意見・ご要望をお寄せいただきたい。

（松村　誠）


# 税を考える週間

11/11 ▶ 11/17

～これからの社会に向かって～

**e-Tax ってこんなに便利！**

◆ インターネットを利用して、国税に関する**申告、申請、届出等**を行うことができます。

◆ 税金の**納付**も、**金融機関や税務署に出向くことなく**、ダイレクト納付やインターネットバンキングを利用して**全ての税目**について行うことができます。

**スマホを利用して、もっと便利に！**

個人事業主の**確定申告**
◆ スマホ(マイナンバーカード読取対応)と**マイナンバーカード**があればいつでもどこでも e-Tax による申告ができます。

**納 付**
◆ **ダイレクト納付**(e-Tax による口座引落し)等キャッシュレス納付が行えます。

**納税証明書の交付請求**
◆ **電子納税証明書**(PDF)の請求や受取が**スマホ**で行えます。

詳しくはこちら

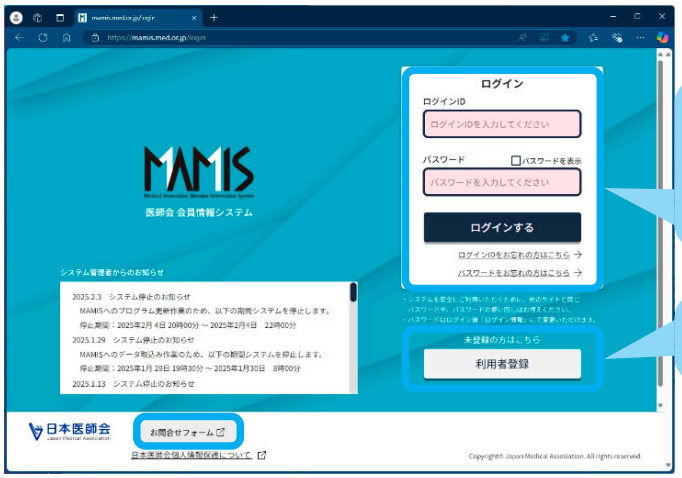
広島国税局・税務署　税を考える週間　検 索



# MAMISの利用者登録はお済みですか？

■MAMISログインURL

https://mamis.med.or.jp/login




※会員の初回ログインは「ID・パスワード通知ハガキ」を確認のうえ入力してください

医師会未入会の方はまずこちらから

※ハガキが見当たらないなどご不明な点はTEL：0120-110-030
またはお問合せフォームまでお問い合わせください

MAMISの初回登録の詳しい操作方法は、上記「公開資料ダウンロードページ」内の医師向け操作マニュアル「ログインから利用者登録まで」をご覧ください。

■日本医師会医師向けMAMISポータルサイト
https://mamis.member-sys.info/
■MAMISポータルサイト「公開資料ダウンロード」ページ
https://mamis.member-sys.info/download/

■お問い合わせ先　医師会会員情報システム運営事務局

**0120-110-030**　受付時間：平日10:00～18:00
※土・日・祝日、年末年始を除く平日

# 令和7年度 中国地区学校保健・学校医大会

## －学校保健の現状や課題を共有－

と　き　令和7年8月24日(日)　午後1時
ところ　山口グランドホテル　鳳凰・鶴の間

広島県医師会常任理事　石川　暢恒

開会挨拶をする加藤智栄山口県医師会会長

令和7年8月24日(日)、山口県医師会の担当により、山口県山口市の山口グランドホテルにて、標記大会が開催された。

中国地区各県より、学校保健関係者が参加し、各県からの研究発表5題と特別講演2題が行われた。本県からは広島市医師会の永田忠先生が「広島市学校保健会のあゆみ－組織改正に伴う変化と今後の課題について－」と題し発表を行った。

なお、次年度の中国地区学校保健・学校医大会は、鳥取県医師会の担当で令和8年8月30日(日)に米子コンベンションセンターにて開催予定。

## 研究発表

### 1.　鳥取県における電子メディア利用教育啓発の推進　（鳥取県）

鳥取県医師会常任理事　松田　隆

こども家庭庁の「令和6年度　青少年のインターネットの利用環境実態調査」では、小学生の約7割、中学生の約9割、高校生のほぼ全員がスマートフォンを利用しており、1日の平均利用時間は、小学生が3時間44分、中学生は5時間2分、高校生は6時間19分と非常に長い時間をインターネットに費やしていた。インターネット

の使いすぎは、視力や筋力の低下、生活リズムの乱れ、人間関係のトラブルなど、さまざまな弊害を引き起こす要因となっている。

これらの現状を踏まえ、鳥取県では、鳥取県教育委員会を中心とした取り組みとして、ケータイ・インターネット教育推進員を養成しているほか、ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会を設立し（平成29年より「鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会」に名称変更)、PTAに向けた出前講座や大人や児童生徒を対象にしたフォーラムの開催、SNSトラブル防止の合言葉「とりのからあげ」啓発プロジェクト、「電子メディアとの付き合い方学習ノート」の作成等を行っているほか、鳥取県デジタル・シティズンシップエデュケーターの派遣も行っている。

現代の子どもたちは生まれたときからIT機器に接する環境で育っており、電子メディアの利用教育啓発の推進が必須である。

## 2.　安来市就学前健康診断における音声言語検診の取り組みについて

（島根県）

医療法人おがわ耳鼻咽喉科理事長
小川　真滋

島根県安来市では、令和5年度から就学前健康診断に音声言語検診を取り入れている。診察時は、異常発音の再現性の確認、器質的異常の有無、難聴の有無、知的障害・発達障害の可能性があるか重点的に診察を行う。発達障害の可能性がある場合は対応可能な医療機関に紹介・相談するが、「ことばのリハビリ」の必要性もあわせて考慮する。課題となるのは事後措置であるが、令和6年2月より安来第一病院に言語聴覚士（ST）中心の小児構音障害リハビリテーションチームが新設され、紹介・相談が可能となった。継続的な評価や訓練が可能で、リハビリテーションの経過は医師にフィードバックされる。

令和5年度の就学前健診実施人数は257人、そのうち音声言語検診の有所見者数は28人（10.9%)、令和6年度の就学前健診実施人数は258人、そのうち音声言語検診の有所見者数は31人（12.0%）であった。

耳鼻科学校健診は複数箇所の視診が必要なため、効率性、スピード重視の傾向がある。耳鼻科学校医にとって、学校健康診断に新たに音声言語検診を導入することは、時間的制約や事後対応の困難さ、音声言語異常への関心の低さなどの課題もあり、なかなか普及が進んでいない。安心できるST所属施設や教育委員会の運営する言葉の教室と連携し、検査（評価）や治療を依頼することで普及が進むのではないかと考えている。

## 3.　岡山県聴覚障害児支援中核機能強化事業の3年間の成果と今後の展望

（岡山県）

岡山大学病院聴覚支援センター准教授
片岡　祐子

新生児聴覚スクリーニングの普及や補聴器の進化、早期の人工内耳、教育制度の変化により、聴覚障害児の6～7割がインクルーシブ教育を受けているが、難聴児への理解や支援は行き届いているとは言いがたい。難聴児支援の構造的課題として、教師の理解や配慮・支援の不足、それに伴う情報や支援の引き継ぎ不足、専門職種の関与が不十分、医療からの離脱、保護者の関与の過重などがあり、専門機関を中心に医療・教育・自治体がしっかりと連携し切れ目のない支援を行うことが重要である。

岡山県では令和4年度より、岡山県聴覚障害児支援中核機能強化事業として、難聴児の通園施設である岡山かなりや学園が中核機関となり、聾学校や医療機関、難聴児とその家族と連携し、連絡会議の開催や、家族支援、巡回支援、教育者等への研修等を行った。事業実施3年間で見えてきた課題として、行政の理解の乏しさ、中核機関の支援スキルの限界、聾学校の専門指導利用の手続きの煩雑さ、専門機関間の連携の脆弱性がある。対策として今年度より、専門機関の定例ミーティング開催、「支援の切れ目」でつなげる体制の構築、研修事業のワークショップ化等により連携体制を強化した。

ライフステージによって変化していく難聴児の課題に対し、通常学校では聴取の状況の把握・配慮や課題の把握、専門機関との連携、専門機関では課題への専門的支援と伴走的支援、社会性の育成指導などをしっかり行うことが重要である。

## 4.　広島市学校保健会のあゆみ　ー組織改正に伴う変化と今後の課題についてー

（広島県）

広島市医師会学校医委員会委員長
広島市学校保健会専務理事　永田　忠

広島市学校保健会は、昭和23年4月にその前身が設立され、現在に至っている。昭和55年4

月1日に広島市が全国で10番目の政令市になったことから、学校保健会の規模も大きくなり、昭和55年7月から新しい組織として、新しい会則に則り運営を行った。政令発足時の行政区は7区であったが、昭和60年から8区となり、学校保健会の役員も大所帯となった。そこで平成26年に組織改正を行った。

組織改正のポイントは、役員構成のスリム化と、専門委員会を7部門設置しそれぞれに専門医を配置したことである。役員構成のスリム化に伴い、日程調整などスムーズに会の運営ができるようになった。また改正後は、各役員は各所属団体の代表として参加する意味合いが強くなり、意見交換が活発になったほか、児童生徒の健康の保持増進に向けた各種取組について、合意形成しやすくなった。専門委員会がより専門的な会議体となったことで、各分野における協議の質が高まり、子どもの健康課題の解決に向けた取り組みもより一層深化した。

今後の課題として、現在、学校医等から徴収されている会費の問題のほか、高齢化や開業医の考え方の変化による学校医のなり手不足、PTAの解散の影響などがある。学校医の在り方、学校健診の方法の検討も重要であると考えられる。

### 5.　山口県における健康教育の実際（山口県）

山口県医師会常任理事　河村　一郎

令和7年4～5月に山口県内の公立小中高等学校463校に、山口県における健康教育の実際についてアンケート調査を実施し、小学校135校、中学校66校、高等学校37校の計238校から回答を得た（回収率51%）。

昨年度の健康教育は、薬物防止が小中高等学校いずれも約9割の実施率であり、性教育、心の問題が約8割、次いで喫煙防止教育、生活習慣病が実施されており、最も実施率が低いのはがん教育であった。

健康教育の実施者は、がん教育、性教育については担任・養護教諭、喫煙防止教育は薬剤師、心の問題についてはスクールカウンセラー、生活習慣病は担任・養護教諭、薬物防止教育・くすり教育は薬剤師、警察署員が行っており、学校医等の医師が行っている学校は少なかった。学校は学校医等の医師による健康教育を希望しているところが多いが、医師に対する遠慮や時間が取れないことなどから実施できていない現状がある。医師に行ってほしい健康教育は、小中高等学校ともに生活習慣病、がん教育、性教育の順に多かった。学校医等の医師がもっと学校の健康教育に関与していくことが必要である。

## 特別講演1

### 子どもの心身の発達に本当に大切な睡眠

医療法人社団昌仁醫修会
瀬川記念小児神経学クリニック理事長
星野　恭子

私たちは「社会と共に子どもの睡眠を守る会」（旧：子どもの早起きをすすめる会）として2001年から活動を行っている。

睡眠覚醒リズムの発達は、脳幹機能、心身の成長、自律神経の発達に影響する。ヒトは生後3～4ヵ月頃までに昼間覚醒することを覚え、1歳頃までに劇的に変化し二相性を確立する。特に生後4ヵ月の夜間の覚醒が多いと、自己制限機能やREM睡眠の質の低下、神経発達の遅れにつながるほか、幼児期の睡眠時間が短いことが、後年の情緒障害やうつ、自閉スペクトラム症などの発達障害のリスクにつながるとの懸念も指摘されている。

また学童期の子どもの睡眠について、ある学校で実施した子どもたちへのアンケートにおいて全学年の約70%が「寝たい」と回答したものの寝れていない現状があった。睡眠時間が短くなるほど、自己肯定感が下がる、情緒的に不安定になるなどの影響がある。

「子ども睡眠健診プロジェクト」として実施された大規模調査の結果からは、日本の児童生徒の多くは、推奨睡眠時間より約1～2時間足りていないこと、平日と土日で起床時間が2時間以上ずれている「社会的時差ぼけ」があることが明らかとなった。社会的時差ぼけは、イライラや睡眠不足感、昼間の眠気、疲労感、学業成績の低下などにつながることも分かっている。

本人の能力を100%発揮し、昼に充実した活動をするために、夜は十分な睡眠が必要であることを保護者も本人も理解し、眠る環境を整えることが重要であり、先生方にはぜひ外来等において睡眠衛生指導を行っていただきたい。

またネット・ゲーム依存は睡眠にも大きく影響することからメディア教育も重要である。インターネットやゲームの利用時間は脳の発達へも影響を及ぼし、スマホやLINEの長時間使用が学力の低下につながるとの研究結果も示されている。

医療者や大人がしっかりと睡眠の重要性やメ

ディア利用の影響等を伝え、子どもたちに理解してもらうことが大切である。

## 特別講演2

### 学校保健の現状と課題

日本医師会常任理事　渡辺　弘司

文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会の下に設置されている「教育課程企画特別部会」において、次回2030年の学習指導要領改訂に向けた検討が進められている。学習指導要領は、学校における教育内容や指導方法などの基準となるもので約10年ごとに見直されている。日本医師会としては、これまで文部科学省へ健康教育の推進を主張しており、健康教育について、学習指導要領へ何らかの形で日本医師会の意向が反映されるよう働きかけを行っていく予定である。ぜひ先生方からも記載が必要な内容やその根拠等について情報提供いただきたい。

また、文部科学省における2025年度の新規事業として、「学校における持続可能な保健管理の在り方に関する調査検討会」が設置され、これまで日本医師会が要望してきた学校健康診断の見直しや保健管理にかかる教職員の負担、学校医の確保等について検討が進められることとなった。学校健康診断については、健診項目や実施方法、実施期間等について現状に即した形で再検討することとしており、日本医師会からは教職員や学校医へ過度な負担をかけないよう申し入れている。メンタルヘルスや不登校児への対応、プライバシーへの配慮も課題となっている。

本検討に伴い、今年度、文部科学省委託事業として日本学校保健会において「保健教育・保健管理に関する調査事業」、「事後措置等における学校と医療機関等との連携に係るモデルケース作成事業」も実施予定である。

検討議題の1つに、学校医不足がある。特に、耳鼻咽喉科・眼科学校医の不足は深刻で、耳鼻咽喉科健診では従前から重点的健康診断が行われているほか、北海道では専門医健診推進事業が行われている。現状に合わせて学校健康診断のシステムを変更する必要があると考えている。

学校健康診断では、脊柱側弯症検診の訴訟も問題となっており、機器を用いた検診の検討が進められている。機器検診においては、精度管理や機器の費用等が課題となっている。

また、学校保健情報の管理体制について、学校健診情報を乳幼児健診や特定健診情報等と連結し、生涯を一気通貫した健診データの整備と活用（PHR：Personal Health Record）を推進する上では、学校保健情報の個人認証やクラウド型の校務支援システムの普及など、学校現場のデジタル化が課題となっている。

今後の課題として、現在、日本医師会では、勤務医が学校医業務を行う際の契約条件、教職員が49名以下の学校における教職員の健康管理体制、学習指導要領における健康教育の在り方、不登校児童生徒の健康診断への対策、学校における情報管理体制等について、文部科学省と交渉を行っている。

## 担当常任理事コメント

星野先生のご講演では、子どもの成長にとって睡眠がいかに大事であるか、また、昨今のスマホやSNSの急速な普及に伴って子どもの生活習慣や睡眠に与える影響が深刻化していることを教わった。渡辺先生のご講演では、学校健診をめぐるさまざまな課題と日医の取り組みをご紹介いただいた。少子化の中でも子どもが育っていく環境は変化しており、各県からのご報告にもあるように医療環境の変化も相まって学校保健への向き合い方も変化してきている。学校医不足の問題は深刻だが、子どもが健康に育っていけるようなシステムを教育行政とも協調しながら考えていく必要があると感じた。

（石川　暢恒）

# e-広報室　新着のお知らせ

**e-広報室に下記を追加いたしました。**

## e-資料　通達文書

| | |
|---|---|
| ●令和７年10月２日 | 令和7年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」について（周知依頼） |
| ●令和７年10月３日 | ヒロダイマッチングシステムへの医薬品関連施設の登録促進について（依頼） |
| ●令和７年10月７日 | 医薬品等マスタの早期の点検報告に向けた取組と今後について |
| ●令和７年10月７日 | 「電子処方箋の導入状況に関するダッシュボード」の機能追加について（情報提供） |
| ●令和７年10月９日 | 令和7年10月以降の電子処方箋の導入補助について |
| ●令和７年10月９日 | 令和7年台風第22号に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について |
| ●令和７年10月10日 | 令和7年台風第22号に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について |
| ●令和７年10月10日 | 令和7年台風第22号に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について |
| ●令和７年10月10日 | 令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その18） |
| ●令和７年10月10日 | 特定医療費（指定難病）及び小児慢性特定疾病医療受給者証における「適用区分」欄の記載廃止について（通知） |
| ●令和７年10月10日 | 令和7年台風第22号に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について |
| ●令和７年10月14日 | 医療機器の保険適用について |
| ●令和７年10月14日 | 「特定診療報酬算定医療機器の定義等について」の一部改正について |
| ●令和７年10月14日 | 「私たちをもっと守る、マイナ保険証（第3弾）」動画のダウンロードサイトについて（周知依頼） |
| ●令和７年10月14日 | 医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて |
| ●令和７年10月14日 | 臓器の移植に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について |
| ●令和７年10月16日 | 令和7年度動物由来感染症対策技術研修会について |
| ●令和７年10月16日 | 広島県内のインフルエンザの流行状況（流行入り）について |
| ●令和７年10月吉日 | 令和8年度　産業医学調査研究助成事業　助成希望者募集のご案内 |

# 学会・研修会等　Web申込受付一覧

**広島県医師会HPから下記の申し込みを受け付けております。**

| | | |
|---|---|---|
| 11／９(日) | 第78回広島医学会総会 | 締切　10／31 |
| 11／13(木) | 令和7年度 第1回産業医実地研修会 | 申込受付終了 |
| 11／17(月) | 広島県医師会医療安全研修会 | 申込受付終了 |
| 11／21(金) | 医師の勤務環境整備に関する病院長・病院開設者・管理者等への講習会 | 締切　11／14 |
| 12／７(日) | 令和7年度 第3回産業医研修会 | 締切　11／10 |
| 12／20(土) | 日本医師会認定健康スポーツ医再研修会県民フォーラム | 締切　12／５ |
| ～１／23(金) | 令和7年度自賠責研修会（WEB配信） | 締切　11／12 |
| ２／７(土) | 第37回広島スポーツ医学研究会一般演題募集 | 締切　11／７ |
| ３／４(水) | 第57回広島医家芸術展　作品募集 | 締切　12／15 |

広島県医師会　医師のみなさまへ・県民のみなさまへ　検索

## 県医師会理事会記事

# 令和7年度第20回常任理事会

（令和7年9月30日）

## 松村会長　挨拶

### 「二つの平和賞」

皆さん、こんばんは。本日は、前回に引き続きイグノーベル賞についてお話しします。イグノーベル賞には10の部門があり、その中には平和賞も設けられています。今年の平和賞は「酒を飲むと外国語が上達するのか」という研究が受賞しました。少量のアルコールが、外国語を話す能力を向上させるという都市伝説を検証したもので、オランダ語を話すドイツ人を対象に行われました。研究では、ウォッカを飲んだ群と飲まなかった群を比較し、オランダ語のネイティブスピーカーによる評価の結果、ウォッカを飲んだ群の発音が明らかに良かったことが示されました。これはアルコールによるリラックス効果が要因と考えられています。まさに、平和そのものでユーモアに富んだ研究です。

さて、平和賞といえばノーベル平和賞ですが、核戦争防止国際医師会議（IPPNW）は1985年に受賞しています。その世界大会が明後日から長崎で開催され、私も出席します。「最後の被爆地」である長崎で開催される初めての世界大会です。私は3日目の全体会議で「The mission of Hiroshima Prefectural Medical Association（広島県医師会の使命）」と題し、発表を行う予定です。主な内容は、被爆の実相を伝え続けること、IPPNWへの参画、核兵器には処方箋がなく廃絶しかないこと、そして政府への働きかけの重要性です。発表の前には少しウォッカをたしなみ、リラックスして臨みたいと思います。

## 協議事項

- **日本医師会第8回医療政策会議における提言の件　（松村会長）**
  診療報酬スライド制の提言を承認
- **市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件　（辻常任理事）**
  11件の申請、講師、演題、カリキュラムコードなどいずれも承認
- **令和7年度広島県高齢者医薬品適正使用推進に関する調査・検討会委員推薦の件　（茗荷常任理事）**
  落久保裕之常任理事の推薦を承認
- **広島産婦人科学会地方会令和7年度運営費補助金の件　（檜山常任理事）**
  補助申請要領（学会地方会への運営費補助）に基づき、補助を承認
- **講演会補助金の件　（檜山常任理事）**
  補助申請要領（市郡地区医師会主催の講演会への補助）に基づき、補助を承認
- **令和7年度中国四国医師会連合医事紛争研究会議題回答の件　（山田常任理事）**
  回答案を承認
- **令和8年度地域医療介護総合確保事業に係る事業提案の件　（中島常任理事）**
  提案のあった4事業について広島県への提出を承認
- **広島県医師会役員職務分掌一部変更の件　（茗荷常任理事）**
  原案を承認し、次回理事会に上程
- **事務局ネットワークおける公衆Wi-Fi回線増強の件　（藤川常任理事）**
  最適業者への発注を承認
- **役職員出張申請の件　（茗荷常任理事）**
  原案どおりいずれも承認

## 報告事項

- **9月25日　原対協常務理事会　（松村会長）**
  評議員会の開催（書面表決）結果、第65回原子爆弾後障害研究会の開催などについて報告があった。
- **9月21日　5歳児健診の診察に関する研修　（玉木副会長）**
  5歳児健診の実施を促進するため、乳幼児健康診査業務に携わる医師を対象に研修が開催され、参加した。
- **9月22日　第1回広島県アレルギー疾患医療連絡協議会　（天野常任理事）**
  令和6年度事業実績報告および令和7年度事業計画などについて協議した。
- **9月22日　令和7年度第1回初期研修医世話人会　（落久保常任理事）**
  令和7年度ウェルカムパーティーの名称変更およびレクリエーションの内容について協議した。

・**9月22日　広島医学会賞選考委員会**
**（辻常任理事）**

広島医学会賞、槇殿賞、論文奨励賞の表彰論文を選考し、広島医学会賞2編、槇殿賞3編、論文奨励賞3編を決定した。選考代表委員は伊藤公訓委員を選出した。

・**9月22日　広島臨床外科振興基金運営委員会**
**（辻常任理事）**

広島臨床外科医学会賞・広島臨床外科医学会奨学金の表彰者について、広島大学外科系5教授より広島臨床外科医学会賞候補論文3編、広島臨床外科医学会奨学金候補研究概要2編の推薦があった。協議の結果、すべてに該当の賞を授与することとし、選考代表委員には、浅原利正広島外科会会長を選出した。

・**9月23日　令和7年度学校医研修会**
**（天野常任理事）**

広島県教育委員会から学校における医師等との連携に関する取組を紹介後、安房地域医療センター小児科部長の市河茂樹先生が教育と医療の連携について、日本医師会の渡辺弘司常任理事が学校保健全般について講演を行った。

・**9月25日　第1回産業医部会・市郡地区医師会産業保健担当理事連絡協議会（三宅常任理事）**

産業医と事業場をつなぐマッチングサイトついて、産業医ネットワーク事業の活動報告後、各市郡地区医師会におけるマッチングの取組状況やMAMISの現状について意見交換した。

・**9月25日　令和7年度依存症相談従事者研修会**
**（魚谷常任理事）**

保健、医療、福祉等の機関での相談業務従事者を対象に研修が開催され、参加した。

・**9月26日　中国地方社会保険医療協議会広島部会　（落久保常任理事）**

中国四国厚生局長から諮問のあった広島県下の保険医療機関および保険薬局の指定について採決し、原案のとおり指定すべきものと議決した。

・**9月26日　第30回中国地方社会保険医療協議会総会　（落久保常任理事）**

保険医療機関の指定取消しおよび保険医の登録取消しについて審議が行われた。

・**9月27日・28日　令和7年度中国四国医師会連合常任委員会・分科会・総会（茗荷常任理事）**

山口県医師会の担当により開催され、特別講演2題と4分科会が行われた。分科会では、新たな地域医療構想等の医療政策、地域包括ケアや在宅医療を含む地域医療・介護保険、勤務医、学校保健・母子保健をテーマに協議が行われた。

・**医療安全研修会補助制度に係る令和7年度上半期実績報告　（山田常任理事）**

市郡地区医師会主催の医療安全研修会が、9月末までに4件開催され、参加者は計415名であった。

・**広島県地域医療支援センター月例報告（R7年8月分）　（中島常任理事）**

医師のキャリア形成支援を行いながら、医療機関の医師確保を支援するなど、さまざまな取り組みを行っている。このセンターの月例報告があった。

・**日本医師会報告（駒込日記）令和7年9月26日号　（茗荷常任理事）**

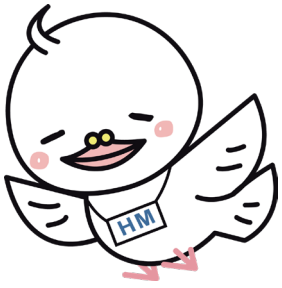
日本医師会常任理事の渡辺弘司先生より、日本医師会での活動状況について報告があった。


## HMネットに参加して地域医療連携を広げよう!!

**ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）は、診療情報や処方情報、健診情報などを共有し、円滑な地域医療連携を実現することを目標としております。HMネットに参加して地域医療に貢献しましょう。**

**参加書類のダウンロード**
https://www.hm-net.or.jp/koubo/koubo.zip　HMネット　検索

**参加医療機関の導入事例紹介**
https://www.hm-net.or.jp/interview　ひろげようＨＭネット　検索



イメージキャラクター
ぽぽじろー

# 会員へのお知らせ

e資料 のマークのある文書は、e-広報室「通達文書」へ全文が掲載してあります。

## 令和7年度特定健康診査等委託契約（集合契約B）における委託元保険者情報の変更について

令和7年9月19日
全国健康保険協会　広島支部
保健グループ

令和7年度特定健康診査・特定保健指導委託契約書記載事項に下記のとおり変更がありました。

### 委託元保険者情報変更一覧（令和7年9月変更分）

| 項番 | 委託元保険者名 | 変更事項 | 変更前 | 変更後 | 変更年月日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | アイシン健康保険組合 | 郵便番号 | 446-0057 | 444-1164 | 令和7年6月30日 |
| 2 | アイシン健康保険組合 | 所在地 | 愛知県安城市三河安城東町2-8-1 | 愛知県安城市藤井町丸山202-1 | 令和7年6月30日 |
| 3 | アイシン健康保険組合 | 電話番号 | 0566-77-8070 | 050-3315-9872 | 令和7年6月30日 |
| 4 | 岐阜信用金庫健康保険組合 | 郵便番号 | 500-8833 | 500-8187 | 令和7年7月16日 |
| 5 | 岐阜信用金庫健康保険組合 | 所在地 | 岐阜県岐阜市神田町6-11 | 岐阜県岐阜市吉津町2-1（岐阜信用金庫第2本部ビル6階） | 令和7年7月16日 |
| 6 | コスモエネルギーグループ健康保険組合 | 郵便番号 | 105-8303 | 104-0031 | 令和7年7月22日 |
| 7 | コスモエネルギーグループ健康保険組合 | 所在地 | 東京都港区芝浦1-1-1（浜松町ビルディング5階） | 東京都中央区京橋1-7-1（TODA BUILDING　16階） | 令和7年7月22日 |
| 8 | コスモエネルギーグループ健康保険組合 | 電話番号 | 03-3798-3143 | 03-6745-6122 | 令和7年7月22日 |
| 9 | テルモ健康保険組合 | 郵便番号 | 163-1450 | 105-5528 | 令和7年7月22日 |
| 10 | テルモ健康保険組合 | 所在地 | 東京都新宿区西新宿3-20-2 | 東京都港区虎ノ門2-6-1（虎ノ門ヒルズ　ステーションタワー28階） | 令和7年7月22日 |

## 令和7年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」について（周知依頼）

日医発第1102号（健Ⅰ）令和7年10月2日
日本医師会常任理事　松岡　かおり

『2026年4月1日努力義務化！治療と仕事の両立支援～中小企業における取組のヒント～』をメインテーマとして、令和7年12月24日㈬より、オンライン配信によるシンポジウムが開催されます。治療と仕事の両立支援の進め方や実践方法について、労働者（患者）、企業、医療機関、両立支援コーディネーターの各視点から取組や事例の紹介が行われます。

オンライン配信の視聴方法等の詳細については、治療と仕事の両立支援ポータルサイトをご覧ください。

## ヒロダイマッチングシステムへの医薬品関連施設の登録促進について（依頼）

令和7年10月3日
広島県健康福祉局薬務課長

本県では、第8次広島県保健医療計画に基づき、県内における各地域の需要を満たす薬剤師数の確保に取り組むことで、薬剤師の偏在の解消および医薬品提供体制の確立を目指す薬剤師確保対策事業を実施しており、広島大学が文部科学省「高度医療人材養成拠点形成事業（医療環境の変化等に対応した質の高い薬剤師の養成）」で開発した「ヒロダイマッチングシステム」を活用し、各病院等医薬品関連施設の魅力や情報を一元的に発信することとしています。
本システムの開発・運用等を行う広島大学より、標題の件について依頼がありましたので、より多くの医薬品関連施設（病院、薬局、行政機関、教育機関および医薬品関連企業等）に本システムをご活用いただくようお願いします。

※本システムは無料でご利用いただけます。
※登録方法等はe-資料をご参照ください。

## 医薬品等マスタの早期の点検報告に向けた取組と今後について

日医発第1117号（情シ）令和7年10月7日
日本医師会常任理事　長島　公之

電子処方箋において、日医発第1625号（情シ）令和6年12月20日「電子処方箋システム一斉点検の実施について（周知依頼）」、および日医発第864号（情シ）令和7年8月26日「医薬品等マスタの設定等にかかる点検報告について（対応依頼）」にて、医薬品等マスタの設定等にかかる点検報告についてお知らせし、電子処方箋を導入しているほとんどの医療機関にて点検報告を行っていただきました。ご協力いただき誠にありがとうございます。
一方、電子処方箋を導入した医療機関のうち、ごく一部の医療機関ではございますが、まだ、点検報告をなされていない状況とのことで、厚生労働省よりそういった医療機関等に対する今後の対応についての方向性が示されました。

**【点検報告済みリスト】**

既に点検報告済で電子処方箋の運用開始日を迎えている場合は、「医薬品等マスタ等の点検報告を完了した医療機関・薬局リスト」として厚生労働省ホームページに掲載されておりますので、点検報告を行ったか不明な場合は、ご確認ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/denshishohousen_taioushisetsu_tenken00001.html

**【医薬品等マスタの未点検医療機関・薬局への点検報告依頼の送付について】**

令和7年9月4日時点で電子処方箋の運用開始日の登録がされている医療機関・薬局のうち、医薬品等マスタの設定等の点検報告が確認できていない医療機関・薬局に、点検報告に関する参考資料が送付されますので、内容をご確認ください。

厚生労働省への点検報告がお済みでない場合は、資料を参考にしながら、以下に記載されている医療機関等向け総合ポータルサイトからの案内に沿ってシステムベンダーとも確認の上、早急にご報告をお願いいたします。

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0011894

なお、厚生労働省よりシステムベンダーに対し、点検報告の趣旨・内容に関して直接説明済みであり、医療機関・薬局からのご相談に適切に対応するよう依頼しております。

**【未点検医療機関・薬局への電子処方箋管理サービスへの接続停止措置について】**

医療現場にとって電子処方箋を利用しやすく、安全に運用できる仕組み・環境の整備を進め、かつ、患者の健康被害を防ぐために、原則、年末を目途に厚生労働省への点検報告を行っていない医療機関・薬局におかれては点検報告が行われるまでの間、電子処方箋管理サービスへの接続を停止させていただく措置が講じられる予定です。当該措置により、電子処方箋の発行・応需、処方情報・調剤結果の登録、重複投薬等チェックの実施、直近の処方・調剤情報を含む薬剤情報等の閲覧等、電子処方箋に関連するサービスを利用できなくなりますので、ご留意下さい。

当該措置に関する具体的な実施時期及び当該措置を踏まえた対応については改めて医療機関等向け総合ポータルサイト等で案内される予定です。

**【本件の問い合わせ先】**

オンライン資格確認等コールセンター　0800-080-4583（通話無料）

月曜日～金曜日（祝日を除く）8：00～18：00

土曜日（祝日を除く）　8：00～16：00

※電子カルテの具体的な操作方法等については、各電子カルテ事業者にお問い合わせください。


# 事故防止、医師と患者の信頼関係

「日本医師会特約保険」・「法人向け団体医師賠償責任保険」・「団体医療施設賠償責任保険」に加入されていますか？医療におけるクレーム・紛争または訴訟にまきこまれた時、あなたとあなたの医療機関は大丈夫ですか？

**お問い合わせ先**　広島県医師会事務局　保険医事課

TEL：082-568-1511

E-mail：ijihosei@hiroshima.med.or.jp

## 「電子処方箋の導入状況に関するダッシュボード」の機能追加について（情報提供）

日医発第1118号（情シ）（技術）令和7年10月7日
日本医師会常任理事　長島　公之
宮川　政昭

令和6年7月31日に厚生労働省・デジタル庁にて共同作成され、公開されました、「電子処方箋の導入状況に関するダッシュボード」について、電子処方箋の活用状況に関する指標として重複投薬・併用禁忌アラートの推移、その数値に関連する重複投薬等チェック実行件数及び調剤結果登録状況に関するダッシュボードが令和7年9月26日に追加公表されました。併せて、更なる地域間の普及促進として、これまでの都道府県単位に加えて、市区町村単位の導入状況に関するダッシュボードも追加され、その周知依頼が厚生労働省より本会宛にまいりました。

**【電子処方箋に関するダッシュボード】**
https://www.digital.go.jp/resources/govdashboard/electronic-prescription

## 令和7年10月以降の電子処方箋の導入補助について

日医発第1132号（情シ）（技術）令和7年10月9日
日本医師会常任理事　長島　公之
宮川　政昭

令和7年3月17日日医発第2148号（情シ）（技術）「令和7年度における電子処方箋の導入補助について」にて、電子処方箋の導入補助の期間の延長についてお知らせしました。この度、その期間について、令和8年9月までに電子処方箋を導入した施設が補助対象となるように期間がさらに延長され、その周知依頼が厚生労働省より本会宛に参りました。なお、補助金に関する詳細な情報については、医療機関等向け総合ポータルサイトへの掲載及び医療機関・薬局に対するメール（医療機関等向け総合ポータルサイトから発信）によりお知らせされます。

また、令和8年10月以降の補助の取扱いについては、令和8年夏までにとりまとめられる電子カルテ及び電子カルテ情報共有サービスの普及計画を踏まえて、それらと電子処方箋の導入が一体的に進むよう、改めて補助の取扱いが検討されることとなっております。

**【電子処方箋概要ページ】**
https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0010185

**【電子処方箋導入補助金詳細ページ】**
https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0010040

**【本件に関する問い合わせ先】**
オンライン資格確認等コールセンター　0800-080-4583（通話無料）
月曜日～金曜日（祝日を除く）8：00～18：00
土曜日（祝日を除く）　8：00～16：00

## 特定医療費（指定難病）及び小児慢性特定疾病医療受給者証における「適用区分」欄の記載廃止について（通知）

令和7年10月10日
広島県健康福祉局疾病対策課長

現在、都道府県・指定都市等が行っている医療保険者に対する高額療養費に係る所得区分の照会等の事務（以下「保険者照会」という）については、オンライン資格確認により、患者の所得区分を正確に確認することができるようになったこと等から廃止するとの方針が示されました。

このことにより、特定医療費（指定難病）及び小児慢性特定疾病医療受給者証（以下「医療受給者証」という）の様式から、所得区分を記載する「適用区分」欄が削除される予定となっております。

このため、本県においても次のとおり保険者照会及び医療受給者証の「適用区分」欄への所得区分の記載を廃止（欄に「－」を記載）することとしますので、御了知いただきますようお願い申し上げます。

なお、医療受給者証の発行（更新）を行う受給者への周知については、当課から別に案内します。

【廃止の時期及び対象地域】

特定医療費（指定難病）

・次期更新発行分の医療受給者証（有効期間令和7年12月1日～令和8年11月30日）
　及び新規発行する医療受給者証から廃止
・広島県が所管する広島市を除く県内22市町の受給者

小児慢性特定疾病

・次期更新発行分の医療受給者証（有効期間令和8年1月1日～令和8年12月31日）
　及び新規発行する医療受給者証から廃止
・広島県が所管する広島市、福山市、呉市を除く県内20市町の受給者

## 臓器の移植に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について

日医発第1177号（技術）令和7年10月14日
日本医師会常任理事　佐原　博之

臓器の移植に関する法律施行規則の一部を改正する省令（令和7年厚生労働省令第98号）が、10月8日付けで公布され、同日から施行する旨、厚生労働省より本会に対し周知方依頼がありました。

内容としましては、学会からの要望に基づき、脳死判定基準を変更するものです。

※ご参考：
厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会資料（第72回）
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_127745.html

## ホームページのメンテナンス等についてのお知らせ

令和7年10月15日
一般社団法人　広島県医師会

下記時間帯において、広島県医師会館、広島県医師会ホームページ（e-広報室・電子メール）・HMネットを一時利用停止させていただきます。
ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

記

**日時**　令和7年12月6日㈯　18：00～23：00（予定）
※作業進捗の都合上、時間の変動がございますので予めご了承願います。

以上

**お問い合わせ先**
広島県医師会事務局
TEL：082-568-1511／FAX：082-568-2112

## 令和7年度動物由来感染症対策技術研修会について

日医発第1185号（健Ⅱ）令和7年10月16日
日本医師会感染症危機管理対策室長　笹本　洋一

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課より、標記の研修会につき情報提供がございました。
本研修会の資料及び動画については、下記のWebページに掲載されておりますので、ご参照ください。

記

**1.　厚生労働省HP（研修資料掲載）**
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00406.html
※掲載許可をいただいた資料を掲載しております。

**2.　プログラム**
1　最近の動物由来インフルエンザについて
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所検査診断技術研究部第四室室長
竹前喜洋
https://www.youtube.com/watch?v=QKG-lvB32VA

2　大阪・関西万博に向けた蚊媒介感染症対策の取組みについて
大阪府健康医療部保健医療室医療・感染症対策課総括主査　髙塚　遼
https://www.youtube.com/watch?v=LLytUEKLADs

3　SFTSの最新の動向
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所獣医科学部部長　前田　健
https://www.youtube.com/watch?v=S6wo7xiZBXw

4　地方衛生研究所における動物のSFTS 検査体制について
山口県環境保健センター所長　調　恒明
https://www.youtube.com/watch?v=d2spUIDjdoQ

5　ヘニパウイルス感染症の近年の状況について
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所獣医科学部第二室　加来義浩
https://www.youtube.com/watch?v=f8plCMj8FVc

6　動物分野のAMR対策とワンヘルスの取組について
農林水産省動物医薬品検査所検査第二部部長　関谷辰朗
https://www.youtube.com/watch?v=tETOEjUF82o

**3.　受講者アンケート（回答期限：11月20日㈭）**
質問は、各講師からの回答を後日共有。
https://forms.office.com/r/UEFcaN6c4S

**4.　留意事項**
動画は自治体等関係者に限定して公開しております。予告なく公開終了する場合がある旨ご了承ください。

以上

**ご連絡先**
厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課動物由来感染症指導係
（担当：清水様）TEL：03-5253-1111（内線4655）、E-mail：animal@mhlw.go.jp

## 広島県内のインフルエンザの流行状況（流行入り）について

令和7年10月16日
広島県健康福祉局健康危機管理課長

広島県感染症発生動向調査による令和7年第41週（10月6日から10月12日）の定点医療機関（94医療機関）からのインフルエンザ報告患者数が、定点当たり1.70（患者数：160人）となり、流行入りの目安としている1.0を上回りました。
今シーズンは、過去10年間で2番目に早い流行入りとなります。

**■県内の流行状況【令和7年第41週（10月6日～10月12日）】**

| 保健所名 | 県保健所 | | | | 広島市 | 呉　市 | 福山市 | 県内　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 西　部 | 西部東 | 東　部 | 北　部 | | | | |
| 定点当たり患者数（人） | 6.23 | 0.75 | 1.67 | 0.80 | 0.86 | 0.67 | 1.33 | 1.70 |
| 報告患者数 | 81 | 6 | 15 | 4 | 30 | 8 | 16 | 160 |
| 定点医療機関数 | 13 | 8 | 9 | 5 | 35 | 12 | 12 | 94 |

※報告患者数：定点報告の対象となる五類感染症については、広島県が指定した医療機関（定点医療機関）から、1週間ごとに患者数が報告されます。（インフルエンザは急性呼吸器感染症（ARI）定点の医療機関からの報告）定点当たり患者数：定点医療機関からの報告患者数を定点医療機関数で割った値のことです。
※流行入り基準……県全体の定点当たり患者数が1以上となったとき
※注意報発令基準…県内いずれかの保健所管内の定点当たり患者数が10以上となったとき
※警報発令基準……県内いずれかの保健所管内の定点当たり患者数が30以上となったとき

■全国及び広島県の状況

| 区　分 | | 第36週 | 第37週 | 第38週 | 第39週 | 第40週 | 第41週 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　国 | 定点当たり報告患者数（人） | 0.50 | 0.72 | 0.80 | 1.04 | 1.56 | − |
| | 報告患者数 | 1,949 | 2,732 | 3,073 | 4,030 | 6,013 | − |
| 広島県 | 定点当たり報告患者数（人） | 0.30 | 0.37 | 0.16 | 0.32 | 0.55 | 1.70 |
| | 報告患者数 | 28 | 35 | 15 | 30 | 52 | 160 |

**インフルエンザについての詳しい情報は、次のホームページを御覧ください。**

○インフルエンザの流行状況（広島県感染症・疾病管理センター／ひろしまCDC）
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhou.html

○インフルエンザ警報等の発令状況（広島県感染症・疾病管理センター／ひろしまCDC）
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhouhaturei.html

## 令和8年度　産業医学調査研究助成事業　助成希望者募集のご案内

令和7年10月吉日
公益財団法人　産業医学振興財団

公益財団法人産業医学振興財団では、働く人々の健康確保や産業保健活動の推進等に役立つ調査研究への助成を行っています。令和8年度は下記のとおり募集します。

募集区分：一般研究（自由課題）
研究期間：令和8年4月1日～令和10年3月31日（2年間）
研 究 費：上限200万円（100万円×2年）
申請期限：令和8年1月31日（メール必着）
採用件数：3件程度（予定）
詳細URL：https://www.zsisz.or.jp/investigation/r8.html
問合せ先：（公財）産業医学振興財団　振興課
TEL：03-3525-8294　E-mail：fukyu@zsisz.or.jp

# 広島県最低賃金が変わります

（令和7年11月1日から）

☆　時間額　　1,085円

特定の産業で働く労働者については、広島県最低賃金よりも金額の高い特定（産業別）最低賃金が適用される場合があります。

お問い合わせ先
広島労働局労働基準部賃金室（TEL：082-221-9244）または最寄りの労働基準監督署へ
広島労働局HP：https://jsite.mhlw.go.jp/hiroshima-roudoukyoku/

# 社保の栞

e-資料 のマークのある文書は、e-広報室「通達文書」へ全文が掲載してあります。

## 交通事故等の該当レセプトへの記載に関するお願い

### 特記事項欄への記載

○　患者の疾病又は負傷が、第三者の不法行為（交通事故、ケンカ、食中毒、他人のペットによる咬傷等）によって生じたと認められる場合は、レセプトの特記事項欄に「**10第三**」と記入するよう厚生労働省の診療報酬明細書記載要領に定められています。

　この第三者の不法行為によって生じた医療費は、保険者が一時的に立て替え、あとから第三者に請求しているため、特記事項への記載は、保険者において第三者行為の発見に重要な役割を果たしていますので、ご協力いただきますようお願いします。

○　自損事故（相手がいない）において、運転手は、第三者行為に該当しないため、特記事項欄に記載の必要はありません。

　しかし、同乗していた方がケガをされた場合は、運転手が加害者となり、第三者行為に該当しますので、レセプトへの記載をお願いします。

### 事故点数等の記載

　事故外の診療（私病）が混在しているレセプトは、摘要欄に**事故点数**、もしくは**事故外点数の記載**をお願いします。

【レセプト摘要欄への記載例】

レセプト点数が1,600点で一部が事故による場合

事故点数　1,200点

もしくは　事故外点数　400点

【問合せ先】

広島県国民健康保険団体連合会

審査事業部求償室

電話　082-554-0774

## 成年後見制度等権利擁護支援に関するガイドライン

　広島県では、成年後見制度等の権利擁護支援の概要や趣旨、手続き等について、市町をはじめ、相談支援機関や医療機関、金融機関などで、成年後見制度の対象となる方やその御家族への対応に役立てていただくため「成年後見制度に関するガイドライン」を作成しました。

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/263/seinenkouken-guidelines.html

# e-広報室　e-資料　通達文書（社保関係）掲載情報

☆e-広報室 → 広島県医師会速報 → e-資料 通達文書 → 医師会速報e-資料に全文掲載しております。

## 令和7年台風第22号に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について　令和7年10月9日（日医発第1141号・保険）

氏名、生年月日、連絡先（電話番号等）、被用者保険の被保険者にあっては事業所名を、国民健康保険又は後期高齢者医療制度の被保険者にあっては住所（国民健康保険組合の被保険者については、これらに加えて組合名）を申し立てることにより、保険診療を受けることが可能な取扱いとする旨、厚生労働省より事務連絡が発出された。

また、公費負担医療の対象者であって、医療券等の関係書類を紛失あるいは家庭に残したまま避難している等の場合には、各制度について、被爆者健康手帳や患者票等がなくても、①各制度の対象者であることの申し出、②氏名、③生年月日、④住所等を確認することにより受診することが可能であり、緊急の場合は、指定医療機関以外の医療機関でも受診できる取扱いとする事務連絡が厚生労働省より発出された。

## 令和7年台風第22号に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について　令和7年10月10日（日医発第1162号・保険）

現在、被災した一部地域において「緊急時医療情報・資格情報機能」がアクティブ化されており、当該機能を活用することで、患者の同意の下、マイナンバーカードが手元になくても、患者の4情報での検索により、患者の薬剤情報等を把握することができるので活用いただきたい。また、災害救助法が適用された市区町村の所在する都道府県の国民健康保険団体連合会（国保連）において、医療機関等及び保険者等から、被災した被保険者の罹患情報等の照会に応じ、国保連の保有する国民健康保険又は後期高齢者医療制度の被保険者の罹患情報等を提供する事業を実施することとなった。

## 「私たちをもっと守る、マイナ保険証（第3弾）」動画のダウンロードサイトについて（周知依頼）　令和7年10月14日（日医発第1163号・情シ・保険）

「私たちをもっと守る、マイナ保険証（第3弾）」の動画が公開された。当該動画コンテンツは医療機関等が施設内広告（例えば、団体の公式HPや公式SNSへの掲載、医療機関・薬局等の窓口や待合室などにおけるデジタルサイネージ・動画配信）として活用いただける。

※認証方法などの詳細はe-資料をご覧ください。

## 医療機器の保険適用について　令和7年10月14日（日医発第1169号・保険）

厚生労働省の通知により、令和7年10月1日から新たに保険適用となった医療機器が示された。

## 「特定診療報酬算定医療機器の定義等について」の一部改正について　令和7年10月14日（日医発第1170号・保険）

厚生労働省の通知により一部改正され、令和7年10月1日から適用された。

## 医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて　令和7年10月14日（日医発第1172号・保険）

審査情報提供検討委員会（社会保険診療報酬支払基金に設置）にて検討され、診療報酬明細書の審査に当たり、薬理作用に基づく医薬品の適応外使用事例として認められるべき事例「審査情報提供事例」が追加された。

【公開先URL（社会保険診療報酬支払基金ホームページ）】
https://www.ssk.or.jp/shinryohoshu/sinsa_jirei/teikyojirei/yakuzai/index.html

詳細な内容は通知の全文をご確認ください。

# 広島県地域医療支援センターだより

## 最近の主な活動

次年度の広島大学ふるさと枠医師等の配置を進めるため、中山間地域の公立・公的病院を中心に配置要望に係るヒアリングを実施しました。この配置調整の対象となる医師は、広島大学ふるさと枠医師、岡山大学地域枠広島県コース医師、自治医科大学卒業医師及び県奨学金貸与医師の総計180名余りとなります。また、独自に奨学金制度を創設している市町もあり、地域医療の現場で活躍する若手医師は確実に育ってきています。

これらの医師の中には、都市部の病院に勤務する人や大学院への進学、県外研修を選択する人もいるため、全員が中山間地域に配置されるわけではありませんが、今後も、皆様方のご指導やご助言をいただきながら着実に取組を進めてまいります。

### ○「令和7年度 若手医師等育成支援助成金」の交付団体を採択しました

広島県で活躍する若手医師を増やす取組の一つとして、基幹病院等や大学病院の指導医等のグループが行う複数の医療機関の若手医師を対象とする研究会等の活動に対して助成金を交付しています。7月に選考会を開催し、11団体を採択しました。

これらの研究会等の開催案内及び開催報告は、ふるさとドクターネット広島のホームページに掲載しています。

多くの若手医師のネットワークが広がり、活躍のできる広島県になることを期待します。

### ○女性医師等就労支援事業について

広島県地域医療支援センターでは、広島県と連携し、医療機関における仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境の整備を行い、女性医師等の離職防止や再就職を図る取組を促進するため、次のとおり医療機関への補助事業を実施しています。
（※補助金の交付決定は広島県が行います。）

【事業概要】

ア　短時間正規雇用導入支援事業（短時間正規雇用で勤務する女性医師等の人件費　補助率1/2）
イ　ベビーシッター等活用支援事業（女性医師等が利用する保育サービスの経費　補助率1/2）
ウ　宿直等代替職員活用支援事業（女性医師等の代わりに宿直等に勤務する非常勤医師の人件費　補助率1/2）
エ　復職研修支援事業（研修を行う指導医の人件費等　補助率1/2）

事務局　（公財）広島県地域保健医療推進機構　地域医療支援センター
〒732-0057　広島市東区二葉の里三丁目2-3-4F　TEL：082-569-6491　FAX：082-569-6492
E-mail：iryou@hiroshima-hm.or.jp

ふるさとドクターネット広島
https://www.dn-hiroshima.jp

ドクターネット広島登録者数
3,884名
（R7.9.30 現在）

e資料 のマークのある文書は、e-広報室「通達文書」へ全文が掲載してあります。

## e-広報室　e-資料　通達文書（介護保険関係）掲載情報

☆e-広報室 → 広島県医師会速報 → e資料 通達文書 → 医師会速報e-資料に全文掲載しております。

### e資料 令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その18）

**日本医師会　令和7年10月10日（日医1156）**

令和6年度介護報酬改定に関するQ＆A（Vol. 17）が発出された。関連する告示、通知、Q＆A等は、日本医師会メンバーズルームの介護保険ページに順次掲載される。また、厚生労働省ホームページには、令和6年度介護報酬改定関連ページ及び介護職員の処遇改善関連ページが開設されている。詳細はe-資料参照。

### e資料 令和7年台風第22号に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について

**日本医師会　令和7年10月10日（日医1157）**

令和7年台風第22号に伴う災害による被災に伴い、東京都の一部地域において災害救助法が適用されたため、厚生労働省より被災した要介護高齢者等への対応に関する事務連絡が発出された。災害救助法の適用を受けた場合における被災した要介護高齢者等への対応等について示されている。また、被保険者証等を消失あるいは家屋に残したまま避難している場合の対応や、要介護認定等についても示されている。

### e資料 令和７年台風第22号に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について

**日本医師会　令和7年10月10日（日医1158）**

厚生労働省より、令和7年台風第22号に伴う災害に係る被災に伴う介護報酬等の取扱いについて事務連絡が発出された。今般の災害に伴い、介護保険施設等の入所者が一時的に他の介護保険施設や医療機関等に避難し、施設サービスや医療サービスの提供を受けようとする場合の取り扱いや、事業所等が被災したことにより一時的に施設基準･算定要件等を満たすことができなくなる場合等について示されている。

## かかりつけ医のための適正処方の手引き

高齢者に多く見られる残薬や多剤併用などの課題に取り組み、医薬品の最適な使用と薬剤費の適正化を推進するため、日本医師会において「かかりつけ医のための適正処方の手引き」を作成しています。

既存の「①安全や薬物療法」「②認知症」「③糖尿病」「④脂質異常症」に加え、新たに「⑤高血圧」の薬物療法についての手引きが作成されました。

日本医師会ホームページ（https://www.med.or.jp/doctor/sien/s_sien/008610.html）からダウンロードできますので、患者さんの服薬管理を行う際の参考資料としてご活用ください。

# 医事紛争委員会だより（ワンポイントアドバイス）16

## ～ガーゼの腹腔内遺残に注意しましょう！～

手術中に使用したガーゼが体内に残ったまま放置されたガーゼ体内遺残は、感染や取り除くための再手術、腸管の穿孔、瘻孔、または閉塞、死亡すら含む重篤な結果を招くことがあります。

日本医療機能評価機構医療安全情報の再発・類似事例（2023年）[1]の中で手術時のガーゼカウントミスは21例、X線画像の確認ミスが19例と最も多く報告されています。このミスの中で、3つの明らかなエビデンスのあるリスク因子は、緊急手術、高度肥満、手術の想定外の変更です。その他関与していると思われるリスク因子は、大量出血、複数の手術チームの関与だそうです[2]。これらのリスク因子を含む手術においては、より一層の注意深い対応が必要であり、それには、普段よりそれぞれの施設で標準化した対応が必要です。

手術の開始時と終了時に全てのガーゼや器具を手作業で数える方法は、多くの看護師にとって標準的な方法です[3]。しかし、ガーゼカウントは、看護師だけでなく、手術チーム全員の協力が必要です。閉腹前には腹腔内からガーゼを取り出し、チーム全員が一旦全ての手術操作を中断して、カウントが終了した際にはチームで共有できるように大きな声で報告し、記録に残す。さらに、カウント不一致の場合はチームで協力して捜索することが重要です。

放射線不透過物質をガーゼに組み込む方法は、数が一致しない場合にX線写真を用いて遺残を見つけることができ、多くの病院で行われている方法です。この方法により遺残の頻度は減少してきています。そのためには、手術にX線不透過ガーゼを使用することも望ましい方法です。

2019年日本医療機能評価機構より、手術時のガーゼの残存①　－ガーゼカウント－（No152）[4]、手術時のガーゼの残存②　X線画像の確認（No153）[5]についての医療安全情報が報告されています。報告されている体腔内にガーゼが残存した事例57件のうち48件は閉創前にガーゼカウントを行いカウントが合っていた事例です[4]。43件で手術終了時にX線撮影が実施され、閉創前のカウントが合っていた34件のうち10件でガーゼが発見され、24件において発見できませんでした[5]。たとえガーゼカウントが合っていてもガーゼが残存している可能性があるという認識で、注意深くX線画像を確認することが重要です。X線画像による確認も絶対的な方法ではなく、見逃しがあることより、遺残があるかもしれないと思い確認することが重要です。

ガーゼ遺残は、ガーゼカウントやX線画像で確認をしても完全に防ぐことは困難です。しかし、手術に使用するガーゼを適切に管理し、患者の体内に遺残しないということは、医療者に課せられた基本的な義務と判示されています。そのため、体内に異物を遺残したという事実だけで過失があると認定される可能性が高く、この過失を否定することは容易ではありません。より誤りが生じにくくなるように日々対策のアップデートが大切です。

### 事例が発生した医療機関の取り組み

・ガーゼを数える際は1枚ずつ広げて確認する。
・手術中はカウント対象外のガーゼを使用しない。
・手術終了後、ガーゼカウントを再度行う。

医療安全情報No. 152の表より引用[4]

### 事例が発生した医療機関の取り組み

・ガーゼカウントが合っていてもガーゼが残っている可能性があるという認識でX線画像を確認する。
・X線画像は、大画面モニタを用いて、輝度の変更を行い確認する。
・X線画像で確認しやすいガーゼの導入を検討する。

医療安全情報No. 153の表より引用[5)]

## 参考文献

1）　医療事故情報収集事業2023年年報．公益財団法人日本医療機能評価機構　医療事故防止事業部
https://www.med-safe.jp/pdf/year_report_2023.pdf

2）　公益社団法人日本麻酔科学会．WHO安全な手術のためのガイドライン2009.
＜2015年5月26日改訂＞．公益社団法人日本麻酔学会（2021年6月14日閲覧）
https://www.anesth.or.jp/guide/pdf/20150526guideline.pdf

3）　日本手術看護学会．日本手術看護学会推奨「手術看護手順」体内異物遺残防止
https://www.jona.gr.jp/tpics/member/02.pdf

4）　公益財団法人日本医療機能評価機構．医療安全情報　手術時のガーゼの残存①
－ガーゼカウント－No. 152. 2019.
https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_152.pdf

5）　公益財団法人日本医療機能評価機構．医療安全情報　手術時のガーゼの残存②
－X線画像の確認－No. 153. 2019.
https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_153.pdf

### 【県医師会医事紛争担当役員コメント】

医療事故の中で今回のガーゼ遺残の事例が散見されますが、このような症例はだいぶ時間がたった後に判明してくるのが通例です。急に問い合わせや訴状が来てビックリすると思います。今回の手術時のガーゼ遺残の予防対策はかなり重要ですので、特にガーゼカウントの時期についての医療機関内での再認識をお願いします。なお、最近では富士フィルムを中心にガーゼの造影糸を自動的に認識しマーキングするAI技術も開発中とのことであり期待したいところです。

常任理事　茗荷　浩志

### 【ワンポイントアドバイスへの質問募集‼】

医療安全に関するテーマについて、日頃から疑問に感じていること等があれば、広島県医師会事務局に質問をお寄せください。ワンポイントアドバイスにて取り上げ、ご回答申し上げます※。

※全てのご質問に回答ができるわけではございませんので、予めご了承ください。

勤務医ニュース

# 外科医の働き方改革と日々の取り組み

日本鋼管福山病院　神原　健

外科診療は常に高い集中力と責任感が求められます。手術は計画通り進むとは限らず、思いがけない事態に臨機応変に対応しなければなりません。術後の容体が安定するまでは気を抜くことができず、日々の繊細な注意力と持久力の積み重ねが、外科医としての基盤であると実感しています。

私の専門は消化器がん手術です。開腹でも腹腔鏡でも、「引き算を意識し、過不足のない切除」を重視し、必要最小限の操作で最大の効果をめざしています。この方針は術前計画から術後管理まで一貫しており、長時間に及ぶ腹腔鏡手術の道しるべにもなっています。その精度を保つには、日常の体調管理や生活リズムの工夫が不可欠です。

勤務医の業務は手術だけでなく、病棟での急変や救急搬送の対応、当直での緊急手術など多岐にわたります。限られた情報をもとに迅速な判断を求められる場面も多く、そうした積み重ねが外科医としての対応力や決断力を磨いています。

近年、医師の働き方改革により、外科医の業務は一人で抱え込む形からチームで支え合う流れに変わりつつあります。若手医師や多職種と役割を分担し、ワークライフバランスを意識した働き方を探ることは、自分自身だけでなく組織にとっても大きな意義があります。初期研修医の教育を通じ経験を伝えると同時に、若い世代の熱意から刺激を受けています。消化器外科医の減少が進む現状を踏まえ、診療科の魅力を次世代に伝えていく責任の重要性も強く感じます。

一人ひとりが長く力を発揮し続けるためには、自己管理も欠かせません。私は以前から毎日1万歩のウォーキングを続けてきましたが、最近ではエレベーターではなく階段を利用したり、仕事後の15分以上の速歩、休日のジョギングも取り入れるようになりました。歩数や歩速はスマートフォンのアプリで記録し、同僚と順位を競い合うことで楽しみながら継続できています。軽い運動や家族との会話は心の充電となり、体力や集中力の維持だけでなく、診療を長く続ける支えにもなっています。

こうした日々の実践により、患者さんには「生活習慣の改善は小さな一歩から」と具体的に伝えることができます。自ら行動する姿勢は言葉以上の説得力を持ち、患者さんや周囲に前向きな影響を与えていると感じます。

がん診療では、患者さんの体力や生活背景に応じて術後の生活の質を維持することを第一に考えています。患者さんが少しずつ日常を取り戻していく姿に立ち会うと、これまでの努力も報われる思いがし、同時に医師自身の健康管理も診療の一部であることを再認識します。

消化器外科医は全国的に減少傾向にありますが、この分野は患者さんの人生に深く関わり、やりがいのある領域です。業務や待遇の改善はもちろん、外科医療の魅力を次世代にしっかりと伝えていくことが、未来に向けた大きな課題と考えます。私自身もまた、日々の努力と工夫を重ねながら、制度や環境の変化を意識しつつ、前向きに歩みを進めていきたいと思います。

禁煙コーナー

# マツダスタジアム敷地内禁煙化を、もちろんエディオンピースウイングも

広島県医師会禁煙推進委員会委員　安藤　仁

タバコ会社は、すさまじいお金を持っています。未来永劫タバコやニコチンを売り続けようと戦略を練り続けています。紙巻きタバコは売らなくなっても加熱式タバコなどで多くの利益を出そうとしています。

日本たばこ産業（JT）が傘下の製薬会社「鳥居薬品」や医薬品事業をあわせておよそ1,600億円で塩野義製薬に売却すると5月7日に発表がありました。以前からタバコ産業が、タバコ・ニコチン製品を売りながらも医薬品を製造することは納得できませんでした。1987年以来の医薬品事業から撤退。食料品部門もお持ちで、冷凍うどんで有名な会社をお持ちのままでした。売り上げの5%ですが、これを機にひょっとするとタバコ・ニコチンだけの会社になるのかも知れません。

JTは2024年度売上高約3兆1,600億円、営業利益6,880億円。毎年約2兆2,000億円をタバコ税や消費税で国庫に納めています。税金を納めた後の約1兆円の68%が営業利益と言うのもすごいですね。税引き後の純利益4,670億円、儲けています。海外での売り上げが76%で、**海外事業を拡大**。世界でのタバコの市場シェア簡易推計の情報によると、中国煙草約23%、フィリップスモリス約4%、ブリティッシュアメリカ約3%、日本たばこ約2%で、JTが伸びています。世界人口の約21%が喫煙者。死亡者は年間800万人以上。

中国の喫煙率約23%、韓国約20%、日本約17%。中国がこんなに低い？男女合わせた平均値で、WHO2024年発表。世界保健統計2019年版掲載の男女別では、中国の男性48.4%、女性1.9%、韓国の男性40.9%、女性6.2%、日本の男性33.7%、女性11.2%でした。中国の女性は1.9%で、まず吸えないのか？吸うとは答えられないのか？中国の男性喫煙率は下がっていなそうです。良いのだろうか！悪いですよね。

**ここは、どこでしょうか？**8月2日㈯、久しぶりにカープ観戦で、マツダスタジアム外階段5階の喫煙所を見てきました。喫煙所のご案内を

見て、バックネット裏から階段を上がり一塁側に進みます。

**『こちらでの喫煙はご遠慮ください。指定の喫煙所をご利用ください。』**

オープンテラスの物品販売所かと思う感じの所があり、その前に赤い立て看板がニョキッとありました。

***『喫煙マナーを守りましょう!!』***

金属製の吸い殻入れスタンドが14基以上、丸いスタンドが数個。10人以上が集まり吸っていました。入る勇気がなく詳細不明なのが残念。通り抜ければ良かった。通り抜ける子どもや20歳未満の人はいないのでしょうか？最低限、遮蔽物で周囲から見られない様にするべきですが、大ぴっらで丸見えでした。この様な喫煙所が何ヵ所もありそうです。これで良いはずはないと思いませんか!!

**次の写真は何処でしょうか?!!**

9月23日㈫、対巨人戦5回裏が終わった午後8時前ごろ、2階席から出たところで喫煙所は「どうかいね」と、のぞいた時、見てはいけない所を見てしまいました。喫煙所が大変。横長いっぱいに人が溢れかえっていました。喫煙所からはみ出ている人もいて、その数は200人を超えていました。球場全体では何百人もの喫煙者がタバコ有害物質を出しているのでしょうか？ビックリしました。放置可ですか？

吸う人が、喫煙の被害を受け、さらに受動喫煙の被害者になっています。お気の毒です。しかし、濃厚に煙を付けた体でスタンドに戻って来られては、さらに濃厚なサードハンドスモークをまき散らされることになります。ここまでひどい野球場の喫煙所はあるのでしょうか？ DeNAの横浜スタジアムでは、スタジアム内全体が喫煙禁止で場外に喫煙所があるとのこと。選手を応援することが、タバコを止める動機になりそう。球団としても選手に禁煙を求めている。良いことです。

2020年4月号に私が投稿した記事には5階の喫煙所が無法地帯のように、もくもくしていたと書いていました。それでも、木の板で隠す様なものに囲まれていたはずです。2021年7月の投稿では、マツダスタジアムホームページ上では喫煙所の有無は確認できませんでした。「新型コロナで撤去されたか？」と書きました。残念なことに、カープの選手たちが新型コロナ感染者にもなっておりました。選手の喫煙率は、新型コロナ流行後には減少していますか！

カープを応援する前に、周囲から囲われた分煙施設を試験設置するという、広島PARCOとお好み村の間の公園“アリスガーデン”を見てきました。ちょうど雨上がりで人が少なく閑散としていました。灰皿スタンドは見当たらず。喫煙者もおりません。広さは30m×40mくらいで広い公園。社会的ルールという表示板が有りました。『喫煙制限：管理者が設置、または設置を許可した灰皿のそば以外での喫煙』とありました。隠れた所にあるのでしょうか？

**夢があります。実現できたら素晴らしい夢。**

来年10月24日㈯の第20回日本禁煙学会学術総会の初日が終わってから、ここアリスガーデンから本通りを通って原爆ドームまで、SMOKE FREE WALKが、できないか！**マツダスタジアムもエディオンピースウイング広島も、敷地内禁煙化ができてありがとうとアピールができれば良いですね。**できるためには両スタンドの敷地内禁煙化要望の署名を広島県民に広くお願いする活動をしてはいかがでしょうか？松村会長！**20万人の署名を集めれば、**広島市長さんや広島市議会が**指定管理者へ敷地内禁煙を強く指示できるようになるでしょうか！医療費削減にもなります。**皆さまよろしくお願いいたします。

10月9日㈭中国新聞22面の【中国わいど】に『新アリーナ署名10万人』と記事が載っていました。バスケットチーム広島ドラゴンフライズのアリーナ建設要望書をJR西日本飯田支社長に報告し協力を要請したと。新幹線口北の2020年からテニスコートや駐車場になっている所で、旧広島支社跡地なので大変交通の便が良いところ。去年の12月から署名活動を始めて8月までに104,260筆を集めたそうです。マツダスタジアムやエディオンピースウイング広島の観客から署名を募ったそうです。われわれ、広島県医師会からは、新アリーナにも敷地内禁煙化を求めましょう。

思うのですが、マツダスタジアム、エディオンピースウイング広島の両スタジアムと合わせて敷地内禁煙化を求める署名活動をするのはいかがでしょうか‼新アリーナも医師会館の近くにできるそうです。いっその事、スポーツ施設や音楽・演劇施設など敷地内禁煙化にする条例を要望した方が漏れがなくて良いのではないでしょうか‼ぜひマツダスタジアムやエディオンピースウイング広島の観客から署名を集めたり、医療関係団体多数にお願いして署名活動を始めましょう。

来年の第20回日本禁煙学会総会の土曜日の午後5時ごろから喫煙問題のあるアリスガーデンから、本通りを通り原爆ドームまで**SMOKE FREE WALK**をしたいですね。署名ありがとうWALKを。今年12月から署名活動を始めて来年8月までに20万人分を集めたらいかがでしょう‼

松村会長のお考えはいかがでしょうか。

# 会員の声

## 書籍紹介 山下武志著「3秒で心電図を読む本」

広島市南区山城町　産業医　吉岡　嘉暁

私は広島大学医学部の出身ですが、学生時代のチューターが麻酔科の盛生教授でした。先生のご好意で、1年間心電図の読書会が有りました。数名の同級生が参加しました。テキストは、有名なゴールドマンの訳本でした。卒業後の入局は麻酔科で、麻酔をかけながら手術中の心電図を監視する経験をしました。広島市役所（保健所）に転職してからは、成人病の集団検診に従事し、3年間多量の心電図の判定に取り組みました。自動判定ではなかったので結構頭を使いました。その後は市役所の本庁（衛生局）部門や管理職などを務め心電図からは遠ざかっていました。

市役所（30年勤務）退職後10年近く経ち後期高齢者になってから、ふとしたきっかけである病院の人間ドックの健診医を頼まれ、週2回午前中従事するようになりました。心電図の復習に何冊か本を読みましたが、まさに特筆に値する本と出合ったので紹介しようと思いマウスを手に取りました。

以下は著者のPR文です。

「限られた診療時間の中で求められるのは、効率よく心電図を読み解き、速やかに次の医療行動を決定すること。パターン認識による心電図診断ではなく、「視線」と「視点」に着目した新しい心電図の読み方を提案します。心電図はちょっとニガテという方も、心電図をこれから学び始める方も、この本を読み終える頃には12誘導心電図を安全に乗りこなせるようになっているはずです」

山下武志先生は、心臓血管研究所で長年にわたり循環器・不整脈の診療と研究に従事し、現在は同研究所の名誉所長を務めていらっしゃいます。心房細動のカテーテル治療に深い経験を持ち、日本における不整脈診療の第一人者として、診療・研究・教育・啓発活動に幅広く貢献されています。

著者の山下先生のプロフィールは次の通りです。

**山下武志（やました たけし）先生の専門分野・経歴**

**＜専門分野＞**

循環器内科、不整脈（特に心房細動）

**＜出身・職歴＞**

1986年：東京大医学部卒業
1994年：大阪大医学部第二薬理学講座
1998年：東京大医学部循環器内科助手
2000年以降：財団法人・心臓血管研究所 第三研究部長、常務理事などを歴任
2011年：同研究所長・院長就任
現在：心臓血管研究所の名誉所長、心臓血管研究所付属病院勤務

**＜学会・受賞歴＞**

日本循環器学会　認定循環器専門医、日本内科学会　認定内科医・指導医
学会役職：日本心電学会　評議員・学術諮問委員、日本不整脈学会　評議員

**＜受賞歴＞**

日本心電学会「木村栄一賞」
日本循環器学会 Young Investigator's Award
世界心電学会 Young Investigator's Award

**＜活動・貢献＞**

不整脈（特に心房細動）のオピニオンリーダー：全国で啓発活動や講演に積極的に参加

**＜この本の目次＞**

第1章　初めに…心電図を3ステップで読んでみよう
第2章　自分の視線と視点を意識してみる
第3章　1stステップ…第Ⅱ誘導を左から右に見るとき
第4章　2ndステップ…QRS波を上から下に見る
第5章　ラスト・ステップ…患者の症状に合わせてST部分・T波を上から下に見る
第6章　練習問題

（メディカルサイエンス社　￥3,400）

心電図のテキストはたくさん出版されており、わざわざ紹介するにはそれなりの理由があります。ChatGPTにこの本のお薦めポイントを教

えてと尋ねると、次の答えが出て来ました。確かにその通りだなと思いました。大推薦します。「山下武志著『3秒で心電図を読む本』は、心電図判読を“難しい理論”ではなく“直感的なポイント”で身につけられる実用書です。複雑な波形を細かく分析するのではなく、『3秒で異常を察知するコツ』に焦点をあて、救急や健診の現場ですぐ役立つ判断力を養えます。図やイラストも豊富で、視覚的に理解しやすく、初心者から実地医療に携わる医師まで幅広く活用できます。効率よく心電図の要点を学びたい方に最適な一冊です」

まさにその通りです。読まれたら、そのシンプルなアプローチに感動されることでしょう。

## 「2026年版日医君卓上カレンダー」プレゼントキャンペーン実施中!!

### ―日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録すると抽選で卓上カレンダーが当たる!?―

**日本医師会では、昨年ご好評頂きました「日医君卓上カレンダー」の2026年版を今年も制作し、600名の方々に抽選でプレゼントすることといたしました。下記の応募方法に従い、奮ってご応募願います（ただし、ご応募はスマートフォンからのみとなりますので、ご注意願います）。**

**◆応募方法：**

STEP1：下記の二次元コードから日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録
（登録済みの方は自動的に日本医師会LINE公式アカウントのトーク画面へ飛びます）

STEP2：送付先等のご質問に回答
STEP3：応募完了！

※当選者には、後日、当LINE公式アカウントからご連絡いたします（落選の場合にはご連絡いたしません）。
※応募完了後に当LINE公式アカウントをブロックまたは削除した場合には当選が無効となります。
※応募はおひとり様1回に限らせて頂きます（複数応募は無効といたします）。

**◆応募期間：**2025年11月1日(土)～11月30日(日)

**◆問い合わせ先：**日本医師会広報課　E-mail：kouhou@po.med.or.jp

# 廣島醫学コーナー

「廣島醫学」78巻10号（10月28日発行）の論文等掲載を次のように予定しております。
ぜひご精読ください。

| | 論　　文　　名 | 著　　者 | 所　　属 |
|---|---|---|---|
| 図　　説 | 持続性片側頭痛の2例 | 高安　武志 | おひさま脳神経外科・歯科 |
| 症例報告 | ゲノムプロファイリングによる治療薬検討と予後との関連が示唆された原発不明癌の2例 | 山本　利枝　他 | NHO呉医療センター　病理診断科 |
| 学　会だより | 第55回広島小児アレルギー感染免疫研究会 | | |
| 学　会だより | 第48回尾三医学会 | | |
| 編集後記 | | 大野令央義 | |

※　広島医学会が発行する学術雑誌「廣島醫学」は、昭和23年創刊以来、若い医師会員の医学研究成果を発表する登竜門でもあり、実地医家のために医学医術の新しい知見を修得する場として、毎月1回発行しております。
　廣島醫学へ積極的に論文等をご投稿くださるようお願いし、学術雑誌としてより評価の高いものを目指したいと思います。

廣島醫学編集委員会
委員長　伊藤　公訓
委員一同

## e-広報室「医事紛争関係」ページに相談窓口があります！

患者とトラブルになった…弁護士へ相談したい…など
医事紛争に関するお困り事は、**相談窓口**よりお気軽にご相談ください！
お電話でご相談を受けた場合、経緯を口答で一から伺うこととなります。
相談窓口からご相談いただくとより迅速かつスムーズに相談対応が可能となりますので
お困りの際には、ぜひご活用ください。

＜相談内容（例）＞
患者等とのトラブル対応
弁護士への相談依頼
診療情報の開示
医療記録の保存義務
警察からの捜査協力依頼
応招義務
SNSの誹謗中傷等
医療費未納への対応、医賠責保険について…など

【e-広報室医事紛争相談窓口】
https://news.hiroshima.med.or.jp/member/medical-dispute/inquiry/

広島県医師協同組合 情報

## 広島県医師協同組合 組合員・賛助会員限定
# 新築マンション購入割引制度
## をご利用ください

特別優待

医師協の提携会社が取り扱う新築マンションの
ご購入時に特別ご優待割引を実施しております。
購入を検討しておられる場合は、ご利用手順をご案内いたしますので、
商談に入られる前に医師協事務局へあらかじめご連絡ください。
対象となるマンションは以下の通りです。

**広島県の新築マンション**

| | |
|---|---|
| ㈱大京 | ザ・ライオンズ横川 |
| 工務店㈱穴吹 | サーパス福山駅 ザ・ガーデン<br>サーパス庚午中 ザ・レジデンス<br>ザ・マークスコート福山 |
| ㈱マリモ | グラディス西広島駅前ザ・タワー<br>グラディス稲荷町リバークロス<br>ポレスター仁保新町テラス |
| JR西日本プロパティーズ㈱ | プレディア戸坂<br>プレディア広島大手町<br>プレディア観音新町プレイス<br>プレディア大芝パークサイド<br>プレディア呉駅前<br>プレディア福山入船町 |

**全国の新築マンション**

対象メーカーは
こちらでチェック►

全国医師協同組合連合会が提携している
大手不動産会社 14 社の物件であれば、首都圏および
全国の新築マンションが割引価格でご購入いただけます。

**ご利用上のご注意**

①ご契約は、物件等の内容をよく確認した上で締結してください。当組合は、物件・商品・サービス情報の提供、提携会社のご紹介のみを目的としており、個々の取引には契約当事者ではないため関与できませんので、あらかじめご了承ください。
②提携会社のご紹介は、その会社の信用や経営状態を保証するものではありません。また、契約については、組合員の皆様が各自の責任において提携会社と直接行っていただくもので、組合員の皆様と提携会社との間に生じた紛争について当組合は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
③不動産物件の価値や価格は経済環境・需給関係・周辺環境の変化等に大きく影響され、その時々の市場によって形成されるものです。ご商談に際しましては、ご自身の責任と判断において、十分にご検討の上お取り引きされるようお願いいたします。
④特典・割引に関する適用の可否は、提携会社・物件・商品・サービス・契約時期等によって異なります。
⑤ご提供いただいた個人情報は、当組合の個人情報保護方針に基づき、当組合及び紹介先提携企業それぞれの責任において管理させていただき、他の目的には一切使用いたしません。

**事前に所定の手続きをされていない場合やすでに商談中の場合は、割引特典が受けられない場合がございます。**

**広島県医師協同組合　TEL (082) 568 - 4511**

---

# ドクターバンク情報

令和7年10月25日現在

求人登録

| 職種 | 診療科 | 件数 |
|---|---|---|
| 医師 | 内科 | 17件 |
| | 総合診療科 | 1件 |
| | 整形外科 | 4件 |
| | 外科 | 1件 |
| | 形成外科 | 1件 |
| | 皮膚科 | 1件 |
| | 耳鼻科 | 1件 |
| | 精神科 | 2件 |
| | 小児科 | 1件 |

求職登録

| 職種 | 診療科 | 件数 |
|---|---|---|
| 医師 | 内科 | 12件 |
| | 心臓血管外科 | 1件 |
| | 小児科 | 1件 |
| | 泌尿器科 | 2件 |

**求人・求職のお申し込み、お問い合わせは事務局へ**
ドクターバンク事務局　TEL：082-261-6115
広島市東区二葉の里三丁目2番3号　県医師会館5階

# 募　集　コ　ー　ナ　ー

Web申込可 マークは広島県医師会ホームページからお申し込みいただけます

## 県民が安心して暮らせるための四師会協議会　医療・介護人材の育成・確保対策ワーキンググループ

# 第6回在宅ノウハウ連携研修　「在宅医療はワンチームで～呼吸器～」オンデマンド配信のお知らせ

広島県医師会・広島県歯科医師会・広島県薬剤師会・広島県看護協会・広島県介護支援専門員協会で組織する「県民が安心して暮らせるための四師会協議会」では、県民が生涯にわたって健康で過ごすための予防体制構築に向けた取り組みを行っており、在宅医療に関心のある医療・介護関係職種を対象に、実践に即した研修会の企画・運営を行っております。

今般で6回目となる本研修は、「呼吸器」をテーマに開催し、このたび、研修の様子をオンデマンド配信することとなりましたので、ご案内申し上げます。

研修は、事前学習動画を視聴した上で研修に参加いただく2段階形式で開催し、当日は、講師によるディスカッション（事前学習に対する質疑応答）やグループワークを行いました。

また、本オンデマンド配信は、講演に関するご質問を質問フォームから受け付けております。ご質問いただいた内容については、後日、講師の回答を事務局よりメールにてご案内いたします。詳細、申込方法は、以下を確認いただきご参加ください。

**開催方法**　Web配信（令和7年10月15日㈬～令和7年12月15日㈪までのオンデマンド配信）

**視聴方法**　視聴URL　https://www.hiroshima.med.or.jp/forms/2025/zaitaku2025/ へのアクセスまたは、二次元コードを読み込んでいただき、申請フォームより研修視聴ID・パスワードを取得後、研修ページへログインください。

**受講対象**　在宅医療を実践する中で不安を抱えている、または、在宅医療を始めてみようと思っているなど、在宅医療に関心のある医師や関係職種

**問 合 先**　一般社団法人広島県医師会　地域医療課（TEL：082-568-1511）

**【事前学習動画】**

- 「医師の立場から」
  医師：大宇根　晃雅（広島県医師会／大宇根内科呼吸器科クリニック）
- 「歯科医師の立場から」
  歯科医師：宮内　美和（広島県歯科医師会／広島口腔保健センター）
- 「薬剤師の立場から」
  薬剤師：前田　大典（広島県薬剤師会／ウォンツ薬局白島通り店）
- 「看護師の立場から」
  看護師：今中　雅江（広島県看護協会／訪問看護ステーション「ひびき」）
- 「介護支援専門員の立場から」
  介護支援専門員：越部　恵美（広島県介護支援専門員協会／居宅介護支援事業所てのひら）

**【研修会】**

**司　会**　広島県医師会常任理事　魚谷　啓

**プログラム**

■事前学習動画に対する質問への回答、ディスカッションなど

≪講師≫

・医　　師　大宇根晃雅（広島県医師会／大宇根内科呼吸器科クリニック）
・歯 科 医 師　宮内　美和（広島県歯科医師会／広島口腔保健センター）
・薬　剤　師　前田　大典（広島県薬剤師会／ウォンツ薬局白島通り店）
・看　護　師　今中　雅江（広島県看護協会／訪問看護ステーション「ひびき」）
・介護支援専門員　越部　恵美（広島県介護支援専門員協会／居宅介護支援事業所てのひら）

＊ご所属等については開催時のものを記載しております。
＊本研修動画の内容等に関する質問は質問フォームから受け付けております。

# 第37回広島スポーツ医学研究会
# 一般演題募集

Web申込可

第37回広島スポーツ医学研究会を開催します。当日は特別講演に先立ち、一般演題発表を実施します。ご発表をご希望の方は下記要領によりご応募ください。みなさまのご参加をお待ちしております。なお特別講演を含め当日の詳細はご用意でき次第広島県医師会速報でご案内します。

**◆と　き**　**令和8年2月7日(土)　午後3時～**

**◆ところ**　広島県医師会館　2階　201会議室（広島市東区二葉の里3-2-3）

**◆主　催**　広島県医師会スポーツ医部会

1. 広島県医師会HPより申込フォームに沿ってご応募下さい。
   （難しい場合は下記連絡先のメールアドレスに題名を記載した200字以内の抄録をお送り下さい）
2. 連名での発表の場合は発表者に○印を付けて下さい。
3. 同一施設からの出題は2題以内とします。
4. 口演時間は6～8分程度（予定）とします。
5. 応募にあたっては、下記に該当するものとします。

(1)　内科的疾患の運動処方、運動療法など
(2)　スポーツ障害・外傷
(3)　メディカルチェック
(4)　スポーツ医科学、トレーニング理論
(5)　スポーツ大会における医事、トレーナー活動
(6)　その他（栄養に関するものなど）

**◆締切日**　**令和7年11月7日(金)**
※演題受領後3日以内に返信連絡をいたしますので。必ず「連絡先」を明記して下さい。
万一連絡がない場合には念の為事務局までご連絡下さい。

**◆連絡先**　広島県医師会スポーツ医部会（広島県医師会学術課）
〒732-0057　広島市東区二葉の里3-2-3
TEL　082-568-1511　FAX　082-568-2112
E-mail　gaku@hiroshima.med.or.jp

## 〈機関誌『広島スポーツ医学研究会誌』への投稿について〉

平成11年度に第1巻が発刊され、研究会発表者の内容を原著論文として掲載しました。

今年度も同様に第27巻を発刊の予定です。第37回広島スポーツ医学研究会発表者のみなさまには改めて投稿要領をお知らせのうえ、ご投稿のご依頼をさせていただきます。多数のご発表およびご投稿をお待ちしております。

（なお出来上がりでA4版3～5頁程度を予定しています。また投稿原稿は医師であるスポーツ医部会委員により査読を行いますので、掲載にあたりご修正をお願いすることがございます）

# Web申込可 第57回広島医家芸術展　作品募集

（広報情報課）

標記芸術展を次により開催いたします。今年度も、広島県民文化センター、広島県医師会館で巡回展示いたします。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

**第1会場　広島県民文化センター**
**とき**　令和8年3月4日㈬～3月9日㈪　午前9時～午後5時
**ところ**　広島県民文化センター　地下1階　展示室（広島市中区大手町1-5-3）
**第2会場　広島県医師会館**
**とき**　令和8年3月11日㈬～4月26日㈰　午前9時～午後5時
**ところ**　広島県医師会館　1階　ホワイエ（広島市東区二葉の里3-2-3）

**応募作品**　絵画・書・写真・彫刻・工芸・その他（生け花は不可）

**応募資格**　広島県医師会会員、元会員、家族および従業員

**応募要領**
・絵画は30号、写真は全紙までとし、なるべく近作の出品とします
・**出品は1人3点まで（作品種別関係なし）**
・出品1作品につき整理費2,000円をいただきます
・申込用紙は1作品につき申込用紙1枚のご提出をお願いいたします
※複数点の場合はその枚数分の申込用紙をご提出ください
・作品保全のため、搬入出は各自の責任でお願いいたします

**応募締切**　**令和7年12月15日㈪**（プログラム作成のため厳守）

**作品提出**　**令和8年2月16日㈪締切**
・広島県医師会または、呉市医師会、東部地区は尾道市・三原市・府中地区各医師会へお持ちください
・作品をお持ちになる際には来館時間など事前に事務局へご連絡いただきますようお願いいたします

**作品返却**　**令和8年5月8日㈮以降**

**懇 親 会**　**令和8年3月5日㈭　午後7時30分～**
ホテルメルパルク広島　8階　ブルートパーズ（**懇親会費6,000円**）
※出品者も、出品されていない方も多数の参加を歓迎いたします。

**申込・問合先**　〒732-0057　広島市東区二葉の里3-2-3　広島県医師会　広報情報課　医家芸術係
TEL：082-568-1511　FAX：082-568-2112　E-mail：kouhou@hiroshima.med.or.jp
**※広島県医師会HPからもお申し込みいただけます。**

Web申し込みはこちら

過去の作品はこちら

**令和7年12月15日㈪　締切**

# Web申込可 第57回広島医家芸術展申込用紙　FAX：082-568-2112
E-mail：kouhou@hiroshima.med.or.jp

| | | | |
|---|---|---|---|
| （ふりがな）<br>出品者氏名 | | | |
| 医療機関名 | | | |
| 住　　所 | 〒<br>TEL　　FAX<br>E-mail　　@ | | |
| 出品者種別 | 会員本人　・　家族　・　従業員：関係会員となる先生のお名前<br>（　　） | | |
| 作品種別 | 絵画　・　書　・　写真　・　彫刻　・　工芸　・　その他（　　） | | |
| 作　品　名 | | 大　き　さ | |
| キャプション<br>（100字以内） | | | |
| 搬入出方法 | 県医師会直接搬入出　・　地区医師会搬入出（呉・福山・尾道・三原・府中） | | |
| 懇　親　会<br>（3月5日） | 出席　・　欠席 | 整理費・懇親会費の支払方法 | □ 引去り<br>□ 現金持参<br>□ 現金書留 |
| 支払合計 | □ 整理費のみ　2,000円×作品数＿＿＿点 →＿＿＿円<br>□ 整理費＋懇親会費<br>2,000円×作品数＿＿＿点　＋6,000円→＿＿＿円<br>□ 懇親会費のみ　6,000円<br>▶1人3点まで（作品種別関係なし）　ご注意ください！ | | |

※複数出品の場合は、作品ごとに申込用紙を提出ください

# 2025年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催

日本医師会では、昨年度に引き続き、日本産業廃棄物処理振興センターとの共催により、「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」を開催します。

感染性産業廃棄物を生じる医療関係機関等では、「特別管理産業廃棄物管理責任者」を置くことが義務付けられています。事務職等の方は、本講習会を修了することにより、感染性産業廃棄物を生じる事業場の「特別管理産業廃棄物管理責任者」として都道府県・政令市に認められます（＊医師、看護師等は、講習会を受講することなく、「特別管理産業廃棄物管理責任者」の資格を既に有しています）。

詳細、申込方法につきましては、以下をご確認いただき、この機会に是非ご参加ください。

**開催方法**　オンライン形式（事前にパソコン等で講義動画を視聴して受講し、会場で試験を受ける2段階形式）により開催します（対面式の講義は行いません。ただし、試験は会場での受験が必要です）。

**講習時間**　講義動画視聴5.5時間、試験45分間（ガイダンス含む）

**受 講 料**　13,200円（税込みテキスト代含む）

**申込方法**　Web申込

**講習内容**　1. 廃棄物の関係法規　2. 感染に関する基礎知識
3. 廃棄物の処理と管理　4. 修了試験

**修 了 証**　修了試験に合格すると修了証が授与されます。この修了証をもって都道府県・政令市より「特別管理産業廃棄物管理責任者」として認められます。

**生涯教育制度**　今年度は講義形式ではないため、単位の付与はありません。（裏面参照）

## 【試験会場・開催日程】

| 開催地 | 開　催　日 | 開始時間 | 会　場 | 定　員 |
|---|---|---|---|---|
| 愛　知 | 2025年11月14日㈮ | 13：40 | 名古屋サンスカイルーム | 75人 |
| 東　京 | 2025年12月５日㈮ | | ベルサール西新宿 | 150人 |
| 大　阪 | 2025年12月18日㈭ | | 天満研修センター | 75人 |
| 福　岡 | 2026年１月14日㈬ | | （公財）福岡県中小企業振興センター | 75人 |
| 北海道 | 2026年２月19日㈭ | | 北海道経済センター | 75人 |
| 東　京 | 2026年２月20日㈮ | | ベルサール西新宿 | 150人 |

## 【講習会の申込み方法】

＊申込受付は、2025年9月9日㈫から開始

日本産業廃棄物処理振興センターのホームページより、申込みができます。

【URL】https://www.jwnet.or.jp/workshop/application/index.html

＊上記URLの「講習会・研修会を申込む」ページの『講習会を申込む』をクリック

## 【医師のみなさまへ】

日本医師会生涯教育制度について、今年度は対面の講義形式ではなく、講義動画を各自で視聴する形式としているため、同制度の単位を付与できる要件に満たず、単位付与はございません。予めご了承ください。

| | | |
|---|---|---|
| 主　　催 | 日本医師会、日本産業廃棄物処理振興センター | |
| 実施協力団体 | 各都道府県の産業廃棄物協会 | |
| 問合わせ先 | 日本産業廃棄物処理振興センター教育研修部 | 03-5807-5913 |
| | 日本医師会地域医療課 | 03-3942-6137 |

# 第37回（令和7年度）健康スポーツ医学講習会

**開　催　日**　~~［前期］令和7年10月25日(土)・26日(日)~~　締め切りました
［後期］令和7年11月29日(土)・30日(日)

**プログラム**　別紙のとおり

**受講方法**　日本医師会web研修会システム（リアルタイムでの動画視聴）

**主　　催**　日本医師会（後援：厚生労働省（予定）、スポーツ庁（予定））

**受講資格**　認定健康スポーツ医を希望する医師等

**受講定員**　前期・後期 各500人（参考：昨年度申込者数は前期427人、後期444人）

**受　講　料**　日医会員は各10,000円（税込）非会員は各18,000円（税込）
※支払はクレジット決済のみ。領収書は開催日以降ダウンロード可。

※注意点
- 本講習会は新規に日本医師会認定健康スポーツ医を取得するための講習会です。更新のための単位は取得できません。
- 講義ごとに受講ログを記録、「視聴コード」の入力により出席確認します。
- 前期・後期とも部分的受講（遅刻、早退等）は不可。必ず2日間全講座を受講してください。
- MAMIS（医師会会員情報システム）の登録必須。受講実績もMAMISで確認できます。
- スマホでの受講は不可。PCまたはタブレットで受講してください。
- 講義に集中して受講すること。診察の合間などに受講することは禁止します。
- キャンセルは［前期］10月15日(水) 23：59　［後期］11月19日(水) 23：59まで

**申込方法**

原則として「日本医師会web研修会システム」から申込を行ってください。
医師会非会員の方で申し込めない場合は、まずMAMISに登録してください。
MAMISに登録できない場合、またはMAMISに登録してもWeb研修システムから申込みできない場合はGoogleフォームから申込みを行ってください。

| | 申し込み方法 | ~~前期締切~~ | 後期締切 |
|---|---|---|---|
| MAMIS登録者等 | web研修システム | ~~10月15日(水)　23：59~~ | 11月19日(水)　23：59 |
| 直接登録できない方 | Googleフォーム | ~~10月８日(水)　23：59~~ | 11月12日(水)　23：59 |

詳しくは日本医師会ホームページ（https://www.med.or.jp/doctor/work/）をご参照ください。

**問合せ先**　日本医師会健康医療第一課
TEL：03-3942-6138
メール：ksss@po.med.or.jp
※受付時間は平日9時30分～17時30分

# 第37回（令和7年度）健康スポーツ医学講習会プログラム（案）

| 開催日 | 時間 | 講習内容 | 講師 | 講師役職 | 生涯教育CC |
|---|---|---|---|---|---|
| 10月25日（前期）1日目 | ９：30～９：35 | 挨拶 | | | |
| | ９：35～10：35 | １．スポーツ医学概論 | 津下　一代 | 女子栄養大学教授 | 0 |
| | 10：40～11：40 | ２．神経・筋の運動生理とトレーニング効果 | 川上　泰雄 | 早稲田大学スポーツ科学学術院スポーツ科学部教授 | 0 |
| | 12：25～13：25 | ３．呼吸･循環系の運動生理とトレーニング効果 | 牧田　　茂 | 川口きゅうぼらリハビリテーション病院副院長 | 0 |
| | 13：30～14：30 | ４．内分泌・代謝系の運動生理とトレーニング効果 | 林　　達也 | 京都大学大学院教授 | 0 |
| | 14：35～15：35 | ５．運動と栄養･食事･飲料 | 稲山　貴代 | 長野県立大学教授 | 0 |
| | 15：45～16：45 | ６．女性と運動 | 松田　貴雄 | 西別府病院スポーツ医学センター長 | 0 |
| | 16：50～17：50 | ７．発育期と運動－小児科系 | 原　　光彦 | 和洋女子大学教授 | 23 |
| 10月26日（前期）2日目 | ９：30～10：30 | ８．中高年者と運動－内科系 | 小熊　祐子 | 慶應義塾大学教授 | 82 |
| | 10：35～11：35 | ９．発育期と運動－整形外科系 | 帖佐　悦男 | 潤和会記念病院　総合リハビリテーションセンター長 | 0 |
| | 12：20～13：20 | 10．中高年者と運動－整形外科系 | 大江　隆史 | NTT東日本関東病院院長 | 77 |
| | 13：25～14：25 | 11．メンタルヘルスと運動 | 西多　昌規 | 早稲田大学教授 | 70 |
| | 14：35～15：35 | 12．運動のためのメディカルチェック－内科系 | 木下　訓光 | 法政大学教授 | 11 |
| | 15：40～16：40 | 13．運動のためのメディカルチェック－整形外科系 | 奥脇　　透 | 国立スポーツ科学センター | 11 |
| 11月29日（後期）1日目 | ９：30～10：30 | 14．運動と内科的障害－急性期・慢性期 | 福島　理文 | 順天堂大学准教授 | 0 |
| | 10：35～11：35 | 15．スポーツによる外傷と障害(1)　上肢 | 池上　博泰 | 東邦大学教授 | 57 |
| | 12：20～13：20 | 16．スポーツによる外傷と障害(2)　下肢 | 原　　邦夫 | JCHO京都鞍馬口医療センタースポーツ整形外科センター長 | 57 |
| | 13：25～14：25 | 17．スポーツによる外傷と障害(3)　脊椎・体幹 | 大鳥　精司 | 千葉大学大学院教授 | 63 |
| | 14：35～15：35 | 18．スポーツによる外傷と障害(4)　頭部 | 荻野　雅宏 | 獨協医科大学病院脳神経外科非常勤講師 | 0 |
| | 15：40～16：40 | 19．運動負荷試験と運動処方の基本 | 安達　　仁 | 群馬県立心臓血管センター顧問 | 11 |
| 11月30日（後期）2日目 | ９：30～10：30 | 20．運動療法とリハビリテーション－内科系疾患 | 田村　好史 | 順天堂大学教授 | 74 |
| | 10：35～11：35 | 21．運動療法とリハビリテーション－運動器疾患 | 津田　英一 | 弘前大学教授 | 19 |
| | 12：20～13：20 | 22．アンチ・ドーピング | 山澤　文裕 | 丸紅（株）東京本社診療所長 | 0 |
| | 13：25～14：25 | 23．障害者とスポーツ | 緒方　　徹 | 東京大学教授 | 0 |
| | 14：35～15：35 | 24．保健指導 | 津下　一代 | 女子栄養大学教授 | 11 |
| | 15：40～16：40 | 25．スポーツ現場での救急処置　整形外科系内科系 | 守屋　拓朗 | 千葉ろうさい病院整形外科副部長 | 44 |
| | | | 武田　　聡 | 東京慈恵会医科大学教授 | |

# 令和7年度 家族計画・母体保護法指導者講習会

**目　　的**　母体保護法指定医師に必要な家族計画ならびに同法に関連する最新知識について指導者講習を行い、母体保護法の運営の適正を期する。

**主　　催**　日本医師会・こども家庭庁

**開催日時**　2025年12月6日(土)　13：00～15：40

**開催場所**　日本医師会館大講堂　（〒113-8621　東京都文京区本駒込2-28-16）

**内　　容**　テーマ「多様化する社会の中で母体保護法指定医師が考えるべきこと」

(1)　経口妊娠中絶薬の適正使用を確実に進めていくために（仮題）（40分）
　　石谷　健（日本産婦人科医会常務理事／医療法人社団こうかん会日本鋼管病院婦人科部長）

(2)　母体保護法をめぐる最近の話題について（20分）
　　濵口　欣也（日本医師会常任理事）

(3)　母子保健行政の最近の動向（仮題）（40分）
　　田中　彰子（こども家庭庁成育局母子保健課長）

**申込方法**　日本医師会ホームページより受講者が必要事項を入力
日本医師会ホームページ「医師のみなさまへ」→「研修・ワークショップ・講習会を見る」→「令和7年度家族計画・母体保護法指導者講習会」へアクセス
URL：https://www.med.or.jp/doctor/work/traning_workshop/001946.html

**申込締切**　2025年11月20日(木)　※定員（300名）になり次第締切

**参 加 者**　広島県医師会会員で母体保護法に関する医師、日本産婦人科医会会員のみ

**参 加 費**　無料

**取得単位**　研修証明（単位の取得）については以下のとおり
①　日本医師会生涯教育制度単位：CC：0（その他）2単位
②　日本産科婦人科学会の単位：産婦人科領域講習1単位
③　日本産婦人科医会の単位　：日本産婦人科医会の研修1単位

**問合せ先**　日本医師会　健康医療第二課　TEL：03-3942-8181（直通）

11月14日は世界糖尿病デー もっと知ろう糖尿病

## 11月9日～11月15日は糖尿病週間 “ダイアベティスウィーク”

### 広島県でも各地でブルーライトアップを実施します！

11月14日は国際連合が指定した“World Diabetes Day”（世界糖尿病デー）です。毎年、世界各国、全国各地の建造物が糖尿病啓発のシンボルカラーであるブルーにライトアップされ、各地で啓発イベントが催されています。

広島県でも、広島市（広島駅南口エールエールA館、エディオンピースウイング広島、アーバンビューグランドタワー）、呉市（旧呉海軍工廠塔時計、呉医療センター正面モニュメント　風景のリズム　光・風・波）、三原市（三原市医師会病院）、三次市（三次ワイナリー、三次サングリーン）、尾道市（しまなみ交流館）、庄原市（庄原赤十字病院、庄原市立西城市民病院、庄原市役所本庁舎）などにおいて、ブルーライトアップの実施を予定しております。

本会HP「広島県医師会からのお知らせ」に啓発ポスターを掲載しておりますので、この機会に先生方からも患者様へお声がけいただき、糖尿病への注意喚起、意識啓発にご協力いただけますようお願いいたします。

**※ポスターは、本号の付録として送付しております。**

**問合せ先：広島県医師会糖尿病対策推進会議（広島県医師会地域医療課、TEL：082-568-1511）**

# 令和7年度 医療事故調査制度に係る「管理者・実務者セミナー」

医療事故調査制度開始から10年を迎えた本制度の運営において、医療事故に該当するか否かの判断、院内事故調査の適切な実施手法等に関して、医療機関の管理者、事故調査を担う実務者をはじめとする医療関係者への情報及び知見の普及は、未だ十分とは言い難い状況にあります。

日本医師会が院内医療事故調査の実践に関する重要事項の習得を目的とした「管理者・実務者セミナー」を下記のとおり開催します。セミナーでは特に、医療機関管理者の視点や実務担当者として直面する課題などについての講義が盛り込まれていますので、ぜひ、医療機関管理者、医療安全担当者、医療事故調査等支援団体関係者、その他実務を担当する方はご参加ください。

**【主　　催】** 日本医師会（令和7年度 日本医療安全調査機構 委託事業）

**【開催形式及び日程】**

①会場での受講
日時：**令和7年12月7日(日)　12：30～18：00**
場所：日本医師会館　小講堂：〒113-0021　東京都文京区本駒込2-28-16

②e-learning による受講（講義動画を受講者専用サイトにてオンデマンド配信）
受講期間：**令和7年12月22日(月)～令和8年3月25日(水)を予定**

＊どちらか一つを選択し受講。
＊「①会場での受講」を申込みした場合、e-learningの視聴も可能。

**【募 集 期 間】** ①会場での受講
**令和7年10月20日(月)　15：00～令和7年11月28日(金)　23：59**
②e-learning による受講
**令和7年10月20日(月)　15：00～令和8年3月19日(木)　23：59**

**【対　象　者】** 医療機関の管理者、実務者もしくはこれに準ずる方

**【定　　員】** ①会場での受講：100名（定員になり次第締め切り）
②e-learningによる受講：1,000 名

**【プログラム】** 次ページ別紙のとおり

**【受　講　料】** 1,500円（税込）＊「①会場での受講」、「②e-learning による受講」とも同額

**【受 講 証 明】** 全ての講義を受講完了した受講者に対し、「受講証明書」を発行

**【申 込 方 法】** 日本医師会ホームページ「医療安全・死因究明」のコーナーより受付
（URL）　https://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/

**【問 合 せ 先】** 日本医師会　医事法・医療安全課　TEL：03-3942-6506

別紙

# 令和7年度　医療事故調査制度「管理者・実務者セミナー」プログラム

**①会場での受講　開催日：令和7年12月7日(日)　場所：日本医師会館　小講堂**
**時　間：12：30～18：00**

| 時　間 | プログラム | 講　師 |
|---|---|---|
| 12：30～12：40【10分】 | 開講挨拶・事務連絡 | |
| 12：40～13：15【35分】 | セミナーに参加するに当たってのポイント<br>「医療事故調査制度」の概要、資料の解説 | 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）<br>常務理事　木村　壯介 |
| 13：15～14：05【50分】 | 病院管理者としての取り組み方<br>～義務感から権利へ～ | 日本医師会医療安全対策委員会　副委員長<br>福岡東医療センター　名誉院長<br>上野　道雄 |
| 14：05～14：55【50分】 | 医療事故報告における判断 | 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）<br>顧問　山口　徹 |
| 14：55～15：05【10分】 | ＜休憩＞ | |
| 15：05～15：30【25分】 | 当該医療機関における対応<br>初期対応 | 日本医師会医療安全対策委員会<br>委員　渡邊　秀臣 |
| 15：30～15：55【25分】 | 当該医療機関における対応<br>関係者への聞き取り | 日本医師会医療安全対策委員会<br>委員　宮原　保之 |
| 15：55～16：45【50分】 | 報告書の作成 | 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）<br>常務理事　宮田　哲郎 |
| 16：45～17：05【20分】 | 事故調査の現場から<br>～実務者が直面する葛藤とその解決へ向けて | 日本医師会医療安全対策委員会<br>委員　滝田　純子 |
| 17：05～17：15【10分】 | ＜休憩＞ | |
| 17：15～17：50【35分】 | 総合質疑応答 | |
| 17：50～18：00【10分】 | 総括・閉講 | |

**②e-learningによる受講　（開講期間：令和7年12月22日(月)～令和8年3月25日(水)）**

| 時　間 | 内　容 | 講　師 |
|---|---|---|
| 【35分】 | セミナーに参加するに当たってのポイント<br>「医療事故調査制度」の概要、資料の解説 | 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）<br>常務理事　木村　壯介 |
| 【50分】 | 病院管理者としての取り組み方<br>～義務感から権利へ～ | 日本医師会医療安全対策委員会　副委員長<br>福岡東医療センター　名誉院長<br>上野　道雄 |
| 【50分】 | 医療事故報告における判断 | 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）<br>顧問　山口　徹 |
| 【25分】 | 当該医療機関における対応<br>初期対応 | 日本医師会医療安全対策委員会<br>委員　渡邊　秀臣 |
| 【25分】 | 当該医療機関における対応<br>関係者への聞き取り | 日本医師会医療安全対策委員会<br>委員　宮原　保之 |
| 【50分】 | 報告書の作成 | 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）<br>常務理事　宮田　哲郎 |
| 【20分】 | 事故調査の現場から<br>～実務者が直面する葛藤とその解決へ向けて | 日本医師会医療安全対策委員会<br>委員　滝田　純子 |
| 【35分】 | 総合質疑応答 | |

（計290分）　（変更の場合あり）

# 令和7年度広島県感染症・疾病管理センター研修会

感染症対策の推進については、日頃から御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

この度、当センターでは、感染症事案への対策や健康危機管理に対応する人材を育成するため、感染症関連業務に携わる医療従事者及び県・市町の感染症対策担当者等を対象に、次の4コースの研修を開催します。

参加希望者については、電子申請システム（広島県感染症・疾病管理センター HP）より、お申し込みいただきますようお願いします。

## 【研修概要】

### 1　研修コース

（1）　高齢者感染症研修コース

高齢者は、感染症に対する抵抗力が弱く、また、感染すると重症化しやすい等、高齢者特有の感染症対策が求められる。また、わが国の結核患者の最も大きい割合を示す年齢層は、高齢者となっている。

そこで、保健所、医療機関等で結核を初め、高齢者の感染症対策業務を担当する職員等に対し、最新の知見に基づいた研修を実施することにより、高齢者感染症対策の推進を図る。

| 内　　容 | 講　　師 |
|---|---|
| 結核1　基礎知識 | 国立病院機構東広島医療センター　前感染症診療部長<br>重藤　えり子 |
| 結核2　接触者健診・患者支援 | |
| 高齢者の感染症 | 広島県感染症・疾病管理センター　センター長　　桑原　正雄 |

（2）　感染症病原体研修コース

近年、新型コロナウイルス感染症などの呼吸器系感染症の発生や、SFTSなど様々な感染症が出現し、生命、生活や経済に重大な影響を及ぼすリスクにさらされていると言える。

これらの感染症の流行を防止するためには、予防啓発の推進と合わせ、事案発生時における迅速かつ適切な対応が重要である。

そこで、感染症対策を担当する職員等に対し、感染原因となる病原体に関する専門的な研修を実施することにより、事案発生時における対応力の向上を図る。

| 内　　容 | 講　　師 |
|---|---|
| 小児の感染症 | 元日本赤十字社中四国ブロック血液センター　所長（現相談役）<br>小林　正夫 |
| 臨床ウイルス学 | 広島大学大学院医系科学研究科　ウイルス学教授　坂口　剛正 |
| 予防接種 | 広島県感染症・疾病管理センター　センター長　　桑原　正雄 |

（3）　院内感染研修コース

近年、新型コロナウイルス感染症、MRSA、VRE、多剤耐性緑膿菌、多剤耐性アシネトバクター及びノロウイルスをはじめとした各種の病原体に起因する院内感染の発生や医療技術の高度化による感染症に対する抵抗力が比較的低い患者が増加しており、最新の科学的知見に基づいた適切な院内感染対策の実施が求められているところである。

そこで、保健所、医療機関等で院内感染業務を担当する職員等に対し、最新の知見に基づいた研修を実施することにより、院内感染症対策の推進を図る。

| 内　　容 | 講　　師 |
|---|---|
| 院内感染対策の実際 | 広島大学病院 感染症科 教授　大毛　宏喜 |
| 耐性菌 | 広島大学大学院医系科学研究科 細菌学教授　小松澤　均 |
| 成人の感染症 | 総合病院庄原赤十字病院 院長　鎌田　耕治 |

(4)　疫学研修コース

保健衛生分野で必要となる疫学の基礎的な事項及び感染症の疫学の特徴について理解するとともに、疫学調査方法の知識・技術を修得し、感染症発生時の対応を科学的に実施する必要がある。このことから、感染症対策を担当する職員に対し疫学研修を行うことにより、知識の習得及び事案発生時の対応力の向上を図る。

| 内　　容 | 講　　師 |
|---|---|
| 災害・感染症対策 | 広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学 教授 久保　達彦 |
| 疫学演習 | 広島大学理事・副学長 特任教授　田中　純子 |

**2　開催方法**

オンデマンド形式によるWeb配信

**3　参加費**

無料

**4　申込**

電子申請システム（下記URL・二次元コード）

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=25888

**5　開催期間**

令和7年10月29日㈬～令和7年12月31日㈬

**6　申込期限**

令和7年12月26日㈮

## かかりつけ医機能報告制度が始まります

・特定機能病院を除く全ての病院、診療所が対象です。
・初回報告は、令和8年1月～3月です。
・かかりつけ医機能報告制度の概要及びガイドラインはこちら
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000123022_00007.html

## Instagramを始めました。

広島県医師会や市区郡地区医師会の
イベント情報をお知らせしています。
フォローをお願いします。

広島県医師会
Instagram

# 令和7年度特定健診・特定保健指導に関する人材育成研修会【技術編】

## 1　目　　的

「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」に示された健診・保健指導の理念や内容に沿って事業を適切に企画、実践及び評価し、対象者の生活習慣病予防のための行動変容につながる健診・保健指導を展開することができる人材の育成支援を目的とする。

## 2　主　　催　広島県保険者協議会

## 3　研修対象者

⑴　医療保険者に所属する医師、保健師、管理栄養士等の専門職
⑵　市町、保健所等において特定健診・特定保健指導を担当する保健師、管理栄養士等の専門職
⑶　県内の特定健診・特定保健指導実施機関で特定健診・特定保健指導に従事する医師、保健師、管理栄養士等の専門職

## 4　研修日時・場所等

⑴　日　時　令和7年11月11日㈫　10：30～16：00（受付は開会30分前からとする）
⑵　場　所　広島市中区東白島町19-49　国保会館6階　大会議室
⑶　演　題　行動変容につながる保健指導に関する指導技術（仮）
⑷　講　師　大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学　　特任准教授　　野口　緑　氏

## 5　申込方法

広島県保険者協議会ホームページに掲載している参加申込書をダウンロードし、必要事項を入力の上、令和7年10月28日㈫までにメールでお申し込みください。

申込後の変更・欠席は、すみやかに広島県保険者協議会事務局まで連絡してください。

## 6　受 講 料　無料

## 7　留意事項

⑴　定員（78名）を超過した場合、人数調整のお願いを行うことがあります。
⑵　講演内容の録画、録音、撮影は一切お断り致します。
⑶　講演資料の著作権は、作成者または作成者の所属する組織が所有し、著作権法によって保護されています。著作権所有者の許可なく複製、二次利用することはできません。
⑷　来場には、公共交通機関を利用してください。

## 8　申込み先及び問合せ先

広島県保険者協議会事務局　（広島県国民健康保険団体連合会 保健事業課内）
担当者：浅田
電話：082-554-0772
E-mail：jigyou@hiroshima-kokuho.jp

## 9　広島県保険者協議会ホームページ

https://www.hiroshima-kokuhoren.or.jp/hokensya/

# 令和7年度新生児聴覚検査に係る研修会

## 1　目　　的

新生児聴覚検査は、難聴の早期発見を目的として、産科医療機関等において、生後1か月までに「初回検査・確認検査」、耳鼻咽喉科において生後3か月までに「精密検査」が行われている。

全ての難聴児を早期に発見し、支援につなげるためには、新生児聴覚検査の適切な実施や、検査結果や検査後の流れ等に関する保護者への丁寧な説明が重要である。

そこで、新生児聴覚検査から確定診断までの流れや、検査の実施方法、保護者への支援等について情報提供を行うことにより、関係者の資質向上を図るとともに、県内の新生児聴覚検査に係る連携を促進する。

## 2　研修概要

(1)　日　時　令和7年11月19日㈬19：00～21：00

(2)　内　容　講演・質疑応答（19：00～21：00）

①「広島県新生児・小児聴覚検査フォローアップセンターの運用について（仮）」
　広島県健康福祉局子供未来応援課

②「広島県における新生児聴覚スクリーニング－現状と問題点－（仮）」
　地方独立行政法人広島県立病院機構県立広島病院小児感覚器科主任部長　益田　慎　医師

③　質疑応答

(3)　形　式

オンライン形式（Zoom）オンデマンド配信あり

## 3　対　　象

県内の分娩取扱機関・二次聴力検査機関・精密聴力検査機関の職員（医師、助産師、看護師等）
県内各市町及び保健所（支所）の母子保健担当職員（保健師、助産師、看護師等）

## 4　申込期限

令和7年11月10日㈪

## 5　参加申込方法

Web申込フォーム

右記QRコードより「広島県電子申請システム」にアクセスし、御入力の上、送信してください。

【URL】　https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=25951

※QRコードが読み込めない場合は、インターネット検索サイトで「電子申請システム広島県」と検索 → 広島県電子申請システム トップページにある「オンライン申請手続き」画面にて、「新生児聴覚検査」と検索 → 手続き一覧から選択して御入力ください。

# 第8回 広島県アレルギー疾患対策研修会

広島県では、すべての県民が、住居地域にかかわらず適正なアレルギー疾患医療を受けられ、適正なアレルギー疾患情報の入手ができる体制の構築を目指すこととしています。

この度、アレルギー疾患医療従事者等の知識や技能の向上に資する研修会を開催いたしますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

**日　　時**　令和7（2025）年11月20日(木)　18：50～20：40
**参加方法**　【会　場】広島県医師会館　201会議室（広島市東区二葉の里3丁目2番3号）
**(ハイブリッド)**　【ＷＥＢ】Zoomウェビナーによる配信
**申込締切**　令和7（2025）年11月10日(月)
**対 象 者**　アレルギー疾患医療従事者（医師、薬剤師、看護師、歯科医師、管理栄養士　等）
**定　　員**　会場50名・WEB配信500名（先着順。定員になり次第、締め切ります）
**参 加 費**　無料（電子申請またはFAXによる事前申込みが必要です）
**主　　催**　広島県
**内　　容**

| | | 内　　容 |
|---|---|---|
| 18：30～ | 会場受付 | |
| 18：50～ | 挨　　拶 | 広島県アレルギー疾患医療連絡協議会　会長<br>広島大学大学院医系科学研究科　皮膚科学　教授　田中　暁生 先生 |
| 講演テーマ | | 「多様なアレルギー疾患の最新情報」 |
| 19：00～ | 講　演　1 | 座長　広島大学大学院医系科学研究科　分子内科学<br>准教授　岩本　博志 先生<br>「成人の食物アレルギーと類縁疾患」<br>講師　国立病院機構相模原病院　臨床研究センター　臨床研究推進部長<br>福冨　友馬 先生<br>【日本医師会生涯教育講座　カリキュラムコード　26　発疹　0.5単位】 |
| 19：45～ | 講　演　2 | 座長　広島大学大学院医系科学研究科　視覚病態学<br>教授　坂口　裕和 先生<br>「アレルギー性眼疾患の臨床」<br>講師　医療法人石峰会いしづち眼科　理事長<br>東邦大学医学部　眼疾患先端治療学講座　寄附講座准教授　兼任<br>鈴木　崇 先生<br>【日本医師会生涯教育講座　カリキュラムコード　37　目の充血　0.5単位】 |
| 20：30～ | 挨　　拶 | 広島県　健康福祉局　健康づくり推進課長　武内　聡 |

## 参加申し込み方法

令和7年11月10日(月)までに下記の①、②いずれかの方法でお申し込みください。
①電子申請　②FAX（082）257-5254

電子申請申込
二次元コード

## 問い合わせ先

広島県 健康福祉局 健康づくり推進課
TEL：(082) 513-3076　FAX：(082) 223-3573
メール：fukensui@pref.hiroshima.lg.jp

# 令和7年度環境省石綿読影の精度に係る調査 読影講習会

環境省大臣官房環境保健部
企画課石綿健康被害対策室

環境省では、石綿（アスベスト）による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とする石綿健康被害救済制度を所管するとともに、一般住民を対象に、肺がん検診等の既存検診を活用して中皮腫や肺がん等の石綿関連疾患が発見できる体制の整備に資するため、令和2年度より「石綿読影の精度に係る調査」を実施しております。

今年度も、放射線画像の読影等による石綿関連疾患の診断精度の向上を目的として、石綿関連疾患の診断等に携わる可能性がある医師（主に呼吸器内科、画像診断科）を対象に、石綿関連疾患に関する講義、読影の実習及び解説を行う講習会を、開催いたします。

**講習会名**　令和7年度環境省石綿読影の精度に係る調査　読影講習会

**開催日時**
~~①令和7年10月19日(日)　13：00～16：00（東京）　⇒参加締切日：10月３日(金)~~ 締め切りました
~~②令和7年11月９日(日)　13：00～16：00（名古屋）⇒参加締切日：10月24日(金)~~ 締め切りました
③令和7年11月23日(日)　13：00～16：00（大阪）　⇒参加締切日：11月７日(金)
④令和7年12月14日(日)　13：00～16：00（福岡）　⇒参加締切日：11月28日(金)

**開催場所**　現地（各会場先着10名）・オンライン（定員なし）併用

**申込方法**　右記二次元コード等へアクセスし、本講習会の詳細を確認のうえ、申込書に必要事項を記載し、E-mailまたはFAXにてお申し込みください。
https://www.jrs.or.jp/information/related/20250908153855.html

## 令和7年度下半期 広島県医師会会費等（A会員）の引去り日程について

広島県医師会　経理課

本会A会員の会費等の納入につきましては、会員本人あるいは所属する医療機関に支払われる診療報酬払込口座等から振替するよう規定されております。

令和7年度下半期は、以下の日程で指定口座から引き落とします。

| | 広島銀行、もみじ銀行<br>広島信用金庫の場合 | その他銀行の場合 |
|---|---|---|
| 令和7年 | 10月21日(火) | 10月20日(月) |
| | 11月21日(金) | 11月20日(木) |
| | 12月22日(月) | 12月22日(月) |
| 令和8年 | １月21日(水) | １月20日(火) |
| | ２月20日(金) | ２月20日(金) |
| | ３月23日(月) | ３月23日(月) |

# 第5回 中国ブロック在宅医療推進フォーラム
# 第2回 日本在宅医療連合学会中国支部会の開催

高齢化の進行やACPの啓発などにより在宅医療・介護のニーズは年々高まっている一方で、社会資源や担い手不足をはじめとした多くの課題にも直面しています。

そんな中、中国地方各地では地域の特性を生かした在宅医療・介護の取り組みが進められていることを受け、このたび、中国地方の在宅医療・介護にかかわる人たちが一堂に会し、ともに学び、語り合うイベントを企画しました。

詳細、申込方法につきましては、以下をご確認いただき、この機会に是非ご参加ください。

**開催日時**　令和7年11月30日㈰　10：00～17：00（受付9：30～）

**開催場所**　広島県医師会館　2階201会議室（広島県広島市東区二葉の里3-2-3）

**受 講 料**　無　料

**定　　員**　100名

**主なプログラム**

▼中国ブロック在宅医療推進フォーラム

【特別講演1】10：15～11：15

『認知症の人のイライラが消える接し方』

講師：植　賀寿夫 先生（デイサービスそうら　管理者 介護支援専門員、介護福祉士）

【特別講演2】11：15～12：15

『私が緩和ケア医として大切にしてきたこと』

講師：余宮　きのみ 先生（広島市立広島市民病院 緩和ケア科　部長）

▼日本在宅医療連合学会中国地方支部会

【基調講演】13：55～14：45

『災害多発時代！我々が今、備えるべきこと－。』

講師：木下　健一 先生（広島県済生会坂町地域包括支援センター長、社会福祉士、広島市認知症アドバイザー、広島文教大学、広島文化学園大学　非常勤講師）

**申込方法**　https://forms.gle/GzCEQRaUBmSKvewV7へのアクセスまたは、二次元コードを読み込んでいただき、申請フォームよりお申し込みください。

**問 合 先**　運営事務局 コールメディカルクリニック広島（小玉　直人）
〒733-0877
広島市西区古田台2丁目12-9
TEL：082-527-0455/FAX：082-527-0450
Mail：n-kodama@call-medical-clinic.com

# がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会

## 1　目　　的

がん等の診療に携わる全ての医療従事者が、基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を習得することを目的に、厚生労働省の定めた「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針（平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知）」に基づいた研修会を、県内の各がん診療連携拠点病院において実施しています。

## 2　研修内容

「e-learning」と「集合研修」、双方の修了をもって、緩和ケア研修会の修了となります。

| e-learning | ＋ | 集合研修 |
|---|---|---|
| e-learningサイトにおいて受講<br>（必須10科目・選択5科目） | | 各拠点病院等で開催される「集合研修」を受講<br>（グループ演習・ロールプレイなど<br>5時間30分以上の研修） |

## 3　研修受講対象者

がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師。

また、これらの医師・歯科医師と協働し、緩和ケアに従事するその他の医療従事者も受講が可能です。

## 4　受講から修了証書発行までの流れ

(1)　**e-learningの受講**
○受講者は、e-learningサイト（https://peace.study.jp/rpv/）で、受講者登録を行い、e-learningを受講してください。パソコン、タブレット、スマートフォンでの受講が可能です。
○必須10科目と選択2科目を受講した後、修了テストを受けてください。
○修了テストに合格すると、修了証書発行が可能になりますので、自身のパソコンから「e-learning修了証書」を印刷してください（注意：e-learning修了証書の有効期間は2年間※となります）。

↓

(2)　**集合研修の申し込み**
○集合研修を受講する施設の申込方法等を確認し、申し込んでください。
（注意：申込の際に、「e-learning修了証書」又は「e-learning修了証書のID」が必要です）

↓

(3)　**集合研修の受講**

↓

(4)　**回答期限までに、e-learningサイトでポストアンケートに回答（回答期限厳守）**

↓

(5)　**修了証書の発行**　（修了証書は、集合研修受講施設から交付されます）

## 5　集合研修の開催予定

| 開催日時 | 主催者 | 定員 | 申込期限 | 申込・問合先 |
|---|---|---|---|---|
| 令和7年<br>12月7日(日)<br>9:00～16:55 | 広島大学病院<br>（広島市） | 24名 | 11月7日(金)<br>17：00 | 医療支援グループ／がん治療センター<br>緩和ケア研修会担当（高畑）<br>（TEL）082－257－5934<br>申込みは下記のホームページをご確認ください<br>https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/cancer/kensyu#kanwa |

## 6　問合せ先

①　研修会への参加を希望される場合は、各研修会の主催者に直接お申し込みください。
②　緩和ケア研修会全般に関する問合先は、広島県　健康福祉局　健康づくり推進課　TEL：082-513-3093

## 7　参　　考

○　緩和ケア研修会に関するプログラムの詳細、集合研修開催予定の最新情報等については、広島県のホームページ「広島がんネット」（https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/）＞「緩和ケア研修情報」＞「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（PEACE）」をご覧ください。
○　診療報酬上、緩和ケア診療加算、がん患者指導管理料、外来緩和ケア管理料などについては、緩和ケア研修会を修了した医師が診療することが必須の算定要件になっています。

# e-広報室のご案内

e-広報室は、会員の先生方のみに広島県医師会速報・広島医学・重要な通達文書などを公開するサイトです。本サイトでは、速報や医学など紙媒体の郵送物をメルマガに切り替える機能などがございます。ぜひご活用くださいませ！

## メンバーズルームのご案内

| | |
|---|---|
| 更新情報 | メンバーズルームの更新情報を掲載しています |
| お知らせ | 医師会からのお知らせを掲載しています |
| 行事予定 | 研修会・イベントなど今後の予定を掲載しています |
| 研修会情報 | 開催予定の研修会の閲覧/検索ができます |
| 広島県医師会速報 | 臨時増刊号やファックスニュースの閲覧/検索ができます |
| 広島医学 | 廣島医学を閲覧/検索できます |
| 通達文書（e-資料） | 医師会速報に掲載されたe-資料の通達文書（全文）を掲載しています |
| 医事紛争関係 | 医事紛争関係の情報を掲載しています |

### ワンポイントアドバイス

| | |
|---|---|
| 診療報酬・指導関連情報 | 診療報酬・指導関連情報を一覧で掲載しています |
| 感染症情報 | 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）などに関する情報を掲載しています |
| ビデオライブラリー | 研修会などの様子を動画でご覧いただけます |
| e-書庫 | 電子文書を一覧で掲載しています |

## e-広報室へは二次元コードから

・e-広報室のログインページが表示されます。
・広島県医師会ホームページからもアクセスできます。

## e-広報室へのログインについて

・ログインIDとパスワードが必要です。
・ログインIDとパスワードは郵便にてお送りしております。
・ログインIDまたはパスワードがご不明な場合は、e-広報室のログインページにある「お問い合わせ」よりご連絡ください。担当者が確認のうえ、対応させていただきます。

お問い合わせ先：広島県医師会　広報情報課　TEL：082-568-1511　E-mail：kouhou@hiroshima.med.or.jp

# 学術講演会・学会ガイド

注1)　1ヵ月以内の予定のみ掲載
注2)　申込受付を過ぎたものも予定に掲載しております

※日医生涯教育講座承認待ちのものを含む

## 10月の予定

| | | |
|---|---|---|
| 25 | 土 | |
| 26 | 日 | ●第65回原子爆弾後障害研究会 |
| 27 | 月 | |
| 28 | 火 | 日 安佐学術講演会<br>●広島記念病院地域医療従事者研修会 |
| 29 | 水 | 日 第174回賀茂東広島精神科医会学術講演会<br>日 第640回広島市内科医会学術講演会<br>日 広島県中部地区産婦人科医会学術講演会<br>●第14回県立広島病院NSTオープンカンファレンス<br>●令和7年度広島県感染症・疾病管理センター研修会（～12月31日）　→P42 |
| 30 | 木 | 日 がんゲノム医療研修会<br>日 三次地区医師会学術講演会<br>日 府中地区医師会学術講演会<br>日 福山市民病院第2回がん診療連携合同カンファレンス<br>●第13回三原赤十字病院医学フォーラム<br>●日本医師会認定産業医研修会　→P56 |
| 31 | 金 | |

## 11月の予定

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 土 | ●肺炎球菌ワクチン接種率向上セミナー<br>●日本医師会認定産業医研修会　→P56 |
| 2 | 日 | |
| 3 | 月 | |
| 4 | 火 | 日 第641回広島市内科医会学術講演会<br>日 呉内科会学術講演会 |
| 5 | 水 | |
| 6 | 木 | 日 令和7年度かかりつけ医等地域医療連携研修会<br>日 第21回広島赤十字・原爆病院地域医療連携研修会（がん診療に関わる地域医療連携研修会）<br>●日本医師会認定産業医研修会　→P56 |
| 7 | 金 | 日 第412回呉循環器病研究会学術講演会 |
| 8 | 土 | 日 福山市民病院　市民公開講座 |
| 9 | 日 | ●令和7年度広島県精神科医療【児童・思春期】県連携拠点機能事業<br>●日本医師会認定産業医研修会　→P57<br>●第78回広島医学会総会　→P59 |

## 11月の予定

| | | |
|---|---|---|
| 10 | 月 | 日 第642回広島市内科医会学術講演会 |
| 11 | 火 | ●広島市佐伯区医師会学術講演会<br>●第228回小児科研修会<br>●県立広島病院（地域がん診療連携拠点病院）がん医療従事者研修会<br>●第103回広島北キャンサーネット研修会<br>●令和7年度特定健診・特定保健指導に関する人材育成研修会【技術編】　→P44 |
| 12 | 水 | |
| 13 | 木 | 日 第347回世羅郡医師会学術講演会<br>●第372回公立みつぎ総合病院オープンカンファレンス |
| 14 | 金 | 日 －みなで備えようや！広島の未来のためじゃけえ！－第3回新興・再興感染症への診療対応講演会<br>●2025年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」（愛知）　→P36 |
| 15 | 土 | ●第47回日本手術医学会総会市民公開講座 |
| 16 | 日 | |
| 17 | 月 | |
| 18 | 火 | ●令和7年度府中地区医師会学術講演会<br>●広島記念病院地域医療従事者研修会 |
| 19 | 水 | 日 三原市医師会学術講演会<br>日 国立病院機構　呉医療センター・中国がんセンター　地域医療研修センター　定期講演会<br>●令和7年度新生児聴覚検査に係る研修会　→P45 |
| 20 | 木 | 日 第2回呉呼吸ケアセミナー学術講演会<br>●第118回医療者がん研修会「子宮がん・卵巣がん診療 up to date」<br>●福山市民病院第5回オープンカンファレンス<br>●第8回 広島県アレルギー疾患対策研修会　→P46 |
| 21 | 金 | 日 肝疾患病診連携懇話会<br>●第577回広島レントゲンアーベント<br>●第279回呉消化器病研究会教育講演及び特別講演<br>●医師の勤務環境整備に関する病院長・病院開設者・管理者等への講習会　→P62 |
| 22 | 土 | |
| 23 | 日 | ●令和7年度環境省石綿読影の精度に係る調査読影講習会（大阪）　→P47 |
| 24 | 月 | |

※　日は日医生涯教育講座として県医師会が認定したものです。
※　単位の配分につきましては、主催者にお問い合わせください。
※　広島県医師会館駐車場減免区分　🚗1：減免対象　🚗2：要医師資格証　🚗3：減免なし

# 学術講演会

※演題に対する単位の配分は、主催者にお問い合わせください。

## 第65回原子爆弾後障害研究会
**と　き　10月26日㈰　午前9時30分**
ところ　広島国際会議場
シンポジウム
　被爆80年－被爆者医療の総括と展望
演題と講師
　広島原子爆弾によってつくり出された非人道的傷痕
　　広島大学名誉教授　　鎌　田　七　男
主　催　広島原爆障害対策協議会
連絡先　同上　TEL 082－243－2451

## 日　安佐学術講演会
**と　き　10月28日㈫　午後7時**
ところ　安佐医師会館　Web配信
演題と講師
　便秘の支点、力点、作用点を考える
　　広島市立北部医療センター安佐市民病院　消化器内科部長　　青　山　大　輝
※要申込
主　催　安佐医師会
連絡先　同上（事務局）　TEL 082－873－1840
単　位　1　　コード　54

## 広島記念病院地域医療従事者研修会
**と　き　10月28日㈫　午後6時30分**
ところ　広島記念病院　講義室　Web配信
演題と講師
　中区看護連携の会　ガイドラインに基づく排泄ケアシリーズ（全2回）1. 慢性便秘症について
　　広島記念病院　外科医長　　矢　野　雷　太
※要申込
主　催　広島記念病院
連絡先　同上（地域連携室）
　TEL 082－292－1271

## 日　第174回賀茂東広島精神科医会学術講演会
**と　き　10月29日㈬　午後7時**
ところ　東広島保健医療センター　大会議室　Web配信
演題と講師
　うつ病の脳回路病態の解明と客観的診断・新規治療法開発への応用
　　広島大学大学院医学系研究科　精神神経医科学教授　　岡　田　　剛
主　催　賀茂東広島精神科医会
連絡先　東広島地区医師会
　TEL 082－422－3810
単　位　1　　コード　70

## 日　第640回広島市内科医会学術講演会
**と　き　10月29日㈬　午後7時**
ところ　TKPガーデンシティ PREMIUM　広島駅北口ホール3B
演題と講師
　肥満症診療の新たな展開
　　広島大学病院　内分泌・糖尿病内科講師　　大　野　晴　也
　当院における肥満症の外来、入院治療の実際
　　マツダ株式会社マツダ病院　糖尿病内科主任部長　　辻　　英　之
※要申込
主　催　広島市内科医会
連絡先　同上　TEL 082－232－7321
単　位　1　　コード　23

## 日　広島県中部地区産婦人科医会学術講演会
**と　き　10月29日㈬　午後7時**
ところ　東広島芸術文化ホールくらら　会議室201号室
演題と講師
　出生前診断
　－東広島医療センターでの実施状況と基礎知識－
　　広島大学医学部　産婦人科　教授　　山　口　　建
主　催　東広島地区医師会
連絡先　松林レディースクリニック　TEL 082－493－8600
単　位　1　　コード　4

## 第14回県立広島病院NSTオープンカンファレンス
**と　き　10月29日㈬　午後6時30分**
ところ　県立広島病院　中央棟　講堂
演題と講師
　GLIM基準－世界標準の栄養評価フローがもたらす栄養ケア
　　愛知医科大学　大学院医学研究科　緩和・支持医療学　　森　　直　治
主　催　県立広島病院　NST・栄養管理科
連絡先　同上　TEL 082－252－6218

## 日　がんゲノム医療研修会
**と　き　10月30日㈭　午後6時**
ところ　広島赤十字・原爆病院　東棟　講堂　Web配信
演題と講師
　造血器腫瘍に対する遺伝子パネル検査
　　九州大学大学院医学研究院プレシジョン医療学分野教授　　前　田　高　宏
主　催　広島赤十字・原爆病院
連絡先　同上（がん相談支援センター：木岡）
　TEL 082－241－3111
単　位　1　　コード　0

## 日　三次地区医師会学術講演会
**と　き　10月30日㈭　午後7時**
ところ　みよし十日市きんさいセンター　ホール　Web配信
演題と講師
　当院におけるアルツハイマー型認知症のBPSDに対する治療について
　　三次神経内科クリニック花の里院長　　伊　藤　　聖
　アルツハイマー型認知症に伴うBPSDの最新の治療
　　メープルヒル病院　院長　　石　井　伸　弥
主　催　三次地区医師会
連絡先　同上　TEL 0824－62－1108
単　位　1　　コード　4

## 日　府中地区医師会学術講演会
**と　き　10月30日㈭　午後7時**
ところ　府中地区医師会館　講堂　Web配信
演題と講師
　慢性腎臓病の新しい治療戦略
　当院でのエンパグリフロジンの使用経験を含め
　　JA尾道総合病院　腎臓内科部長　　江　崎　　隆
主　催　府中地区医師会
連絡先　同上　TEL 0847－45－3505
単　位　0.5　　コード　73

## 日　福山市民病院第2回がん診療連携合同カンファレンス
**と　き　10月30日㈭　午後6時**
ところ　福山市民病院　Hall CoRe（ホールコア）　Web配信
演題と講師
　大腸癌肝転移の集学的治療を紡ぐMDTアプローチ
　　国立がん研究センター東病院　肝胆膵外科医長　　小　林　　信
主　催　福山市民病院教育研修委員会
連絡先　福山市民病院（病院総務課）
　TEL 084－941－5151
単　位　1　　コード　0

### 第13回三原赤十字病院医学フォーラム
と　き　**10月30日(木)　午後6時30分**
ところ　三原国際ホテル
演題と講師
腎癌の治療戦略と地域連携
三原赤十字病院　第三泌尿器科部長　西　川　大　祐
口腔外科で行う咬合治療　顎関節から顎関節全置換術まで
三原赤十字病院
歯科口腔外科副部長　庭　田　千恵子
主　催　三原赤十字病院
連絡先　同上（地域医療連携課：山田）
TEL　0848－61－3812

### 肺炎球菌ワクチン接種率向上セミナー
と　き　**11月1日(土)　午後3時**
ところ　Web配信
演題と講師
肺炎球菌ワクチンの基本的考え方
鳥取県立中央病院　院長　千　酌　浩　樹
肺炎球菌ワクチン接種率向上に関するアンケート調査
広島大学病院　感染症科　大　森　慶太郎
肺炎球菌ワクチンの現状と未来
亀田総合病院呼吸器内科　主任部長　中　島　　啓
※要申込（申込は主催者HPを確認）
主　催　NPO法人中国・四国呼吸器疾患関連事業包括的支援機構（CS-Lung）
連絡先　同上（事務局）　TEL　086－235－6507

### 日　第641回広島市内科医会学術講演会
と　き　**11月4日(火)　午後6時50分**
ところ　ホテルグランヴィア広島　飛鳥
演題と講師
併存疾患と合併症を意識した2型糖尿病診療
CKM＋L（肝臓）症候群について
広島赤十字・原爆病院内分泌・代謝内科
部長　亀　井　　望
※要申込
主　催　広島市内科医会
連絡先　同上　TEL　082－232－7321
単　位　1　コード　76

### 日　呉内科会学術講演会
と　き　**11月4日(火)　午後7時**
ところ　呉阪急ホテル　皇城の間　Web配信
演題と講師
高齢者・身体疾患患者における不眠の診かた
広島大学　広島大学病院　精神科/緩和ケアセンター
診療准教授　倉　田　明　子
主　催　呉内科会
連絡先　呉市医師会　TEL　0823－22－2326
単　位　1　コード　20

### 日　令和7年度かかりつけ医等地域医療連携研修会
と　き　**11月6日(木)　午後6時30分**
ところ　広島県三次庁舎　第3庁舎　601会議室　Web配信
演題と講師
うつ病疑い患者への初期対応
－かかりつけ医における診察のポイントと精神科連携のコツ－
子鹿医療療育センター　医師　佐　伯　俊　成
主　催　三次地区医師会
連絡先　同上　TEL　0824－62－1108
単　位　1　コード　70

### 日　第21回広島赤十字・原爆病院地域医療連携研修会（がん診療に関わる地域医療連携研修会）
と　き　**11月6日(木)　午後7時**
ところ　ANAクラウンプラザホテル広島　オーキッド
演題と講師
アドバンス・ケア・プランニング　地域でどのように実践するか
筑波大学　医学医療系　緩和医療学
教授　木　澤　義　之
※要申込
主　催　広島赤十字・原爆病院
連絡先　同上（地域医療連携課：溝岡・椿）
TEL　082－241－3111
単　位　1　コード　81

### 日　第412回呉循環器病研究会学術講演会
と　き　**11月7日(金)　午後7時**
ところ　呉阪急ホテル　皇城の間　Web配信
演題と講師
変化を迎えた糖尿病治療
－循環器医が考えるチルゼパチドの活用術－
中部電力株式会社　全社総括産業医／健康管理室長
（元名古屋大学医学系研究科教授）　柴　田　　玲
主　催　呉循環器病研究会
連絡先　呉市医師会　TEL　0823－22－2326
単　位　1　コード　76

### 日　福山市民病院　市民公開講座
と　き　**11月8日(土)　午後1時**
ところ　福山市西部市民センター
演題と講師
診断・内科治療について
福山市民病院　内科科長　皿　谷　洋　祐
局所療法について
福山市民病院　外科科長　日　置　勝　義
主　催　福山市民病院
連絡先　同上　TEL　084－941－5151
単　位　2　コード　0

### 令和7年度広島県精神科医療【児童・思春期】県連携拠点機能事業
と　き　**11月9日(日)　午前9時30分**
ところ　TKPガーデンシティ premium広島駅前
演題と講師
子どもと支援者の関係性
医療法人翠星会　松田病院　松　田　文　雄
※要申込
主　催　医療法人翠星会
連絡先　松田病院（精神科）
TEL　082－253－1245

### 日　第642回広島市内科医会学術講演会
と　き　**11月10日(月)　午後7時**
ところ　第一三共株式会社　中国オフィス　会議室
演題と講師
最新のガイドラインを踏まえた高血圧治療－ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬（MRB）を実地診療に活かす－
岡山大学　学術研究院医療開発領域　腎臓・糖尿病・内分泌内科　教授　内　田　治　仁
※要申込
主　催　広島市内科医会
連絡先　同上　TEL　082－232－7321
単　位　1　コード　74

### 広島市佐伯区医師会学術講演会
と　き　**11月11日(火)　午後7時30分**
ところ　広島市佐伯区地域福祉センター　大会議室　Web配信
演題と講師
循環器内科医が考える脂質低下療法
－積極的脂質低下療法の重要性とペマフィブラートの使用経験－
県立広島病院　循環器内科　部長　卜　部　洋　司
※要申込
主　催　広島市佐伯区医師会
連絡先　同上（事務局：今川）
TEL　082－921－4800

### 第228回小児科研修会
と　き　**11月11日(火)　午後7時**
ところ　広島市立舟入市民病院　会議室
演題と講師
緊急ドレナージ術を施行した右眼窩骨膜下膿瘍の一例
広島赤十字・原爆病院　小児科　山　口　達　也
当院でのエコー活用法
ねじはし小児科　捻　橋　紀　久
主　催　知愛会
連絡先　広島市立舟入市民病院　小児科（岡野）
TEL　082－232－6195

## 県立広島病院（地域がん診療連携拠点病院）がん医療従事者研修会

**と　き　11月11日㈫　午後6時**

ところ　県立広島病院　中央棟　講堂　Web配信

演題と講師

薬薬連携の現在地について

県立広島病院　薬剤科　医療技術専門員　古　田　裕　幸

irAE早期発見のポイントと薬薬連携

県立広島病院　薬剤科　主任　岡　村　和　彦

がん薬物療法UpToDate

県立広島病院　薬剤科　医療技術専門員　今　津　邦　智

※要申込

主　催　県立広島病院　がん診療推進運営委員会

連絡先　同上　総務課管理係（担当：安原）

TEL　082－254－1818

## 第103回広島北キャンサーネット研修会

**と　き　11月11日㈫　午後7時**

ところ　Web配信

演題と講師

血液腫瘍の治療薬と副作用マネジメントについて

広島市立北部医療センター安佐市民病院

薬剤部　外来がん治療認定薬剤師　武　井　秀　樹

主　催　広島市立北部医療センター安佐市民病院

連絡先　同上（がん相談支援センター）

TEL　082－815－5533

## 日　第347回世羅郡医師会学術講演会

**と　き　11月13日㈭　午後7時**

ところ　Web配信

演題と講師

CKD患者の漢方治療－腎性貧血治療も含めて－

日本鋼管福山病院　腎臓内科部長・透析センター長・臨床工学科長　和　田　健太朗

主　催　世羅郡医師会

連絡先　同上（事務局）　TEL　0847－25－0116

単　位　1　　コード　73

## 第372回公立みつぎ総合病院オープンカンファレンス

**と　き　11月13日㈭　午後6時**

ところ　公立みつぎ総合病院　会議室1

演　題

脂質は善玉か悪玉か

主　催　公立みつぎ総合病院

連絡先　同上　TEL　0848－76－1111

## 日　－みなで備えようや！広島の未来のためじゃけえ！－第3回新興・再興感染症への診療対応講演会

**と　き　11月14日㈮　午後7時**

ところ　広島医師会館　講堂　Web配信

演題と講師

COVID-19と関連する呼吸器感染症のこれまでと今後

－5年間のエビデンスをふまえて－

埼玉医科大学医学部　国際医療センター

感染症科・感染制御科　教授　関　　雅　文

※要申込

主　催　広島市医師会

連絡先　同上（地域医療課）　TEL　082－232－7321

単　位　1　　コード　8

## 第47回日本手術医学会総会市民公開講座

**と　き　11月15日㈯　午後1時**

ところ　広島国際会議場　フェニックスホール

特別企画

野村謙二郎氏、越智光夫学長トークショー

演題と講師

スポーツ医学と再生医療の現在地と未来展望

広島大学病院病院長　整形外科教授　安　達　伸　生

臓器移植外科医療の現在地と未来展望

広島大学病院副病院長

消化器・移植外科教授　大　段　秀　樹

ロボット支援手術の現在地と未来展望

広島大学病院　泌尿器科教授　日　向　信　之

主　催　第47回日本手術医学会総会

連絡先　広島大学病院（麻酔科医局）

TEL　082－257－5267

## 令和7年度府中地区医師会学術講演会

**と　き　11月18日㈫　午後7時**

ところ　府中地区医師会館　講堂　Web配信

演題と講師

咳と対峙する；ゲーファピキサント投与の最適タイミングを見極める

山口大学医学部附属病院　呼吸器・感染症内科

准教授　平　野　綱　彦

主　催　府中地区医師会

連絡先　同上　TEL　0847－45－3505

## 広島記念病院地域医療従事者研修会

**と　き　11月18日㈫　午後6時30分**

ところ　広島記念病院　講義室　Web配信

演題と講師

ガイドラインに基づく排泄ケアシリーズ（全2回）2. 便失禁、失禁関連皮膚障害（IAD）について

広島記念病院　外科医長　矢　野　雷　太

広島記念病院　皮膚排泄ケア認定看護師　森　本　純　子

※要申込

主　催　広島記念病院

連絡先　同上（地域連携室）　TEL　082－292－1271

## 日　三原市医師会学術講演会

**と　き　11月19日㈬　午後7時**

ところ　三原シティホテル　Web配信

演題と講師

MASLDからみた全身管理

－糖尿病・脂質異常症を中心に－

兵庫内科・肝臓糖尿病クリニック

院長　兵　庫　秀　幸

※要申込

主　催　三原市医師会

連絡先　同上（事務局）　TEL　0848－62－2283

単　位　1　　コード　75

## 日　国立病院機構　呉医療センター・中国がんセンター　地域医療研修センター　定期講演会

**と　き　11月19日㈬　午後6時30分**

ところ　呉医療センター・中国がんセンター　管理棟研修センター1. 2

演題と講師

眠れない夜が招く病気たち－不眠症と健康被害－

呉医療センター・中国がんセンター

精神科科長　大　盛　　航

主　催　呉医療センター・中国がんセンター

連絡先　同上　TEL　0823－22－3816

単　位　1　　コード　19

### 日　第2回呉呼吸ケアセミナー学術講演会

**と　き**　**11月20日㈭　午後7時5分**
**ところ**　呉阪急ホテル　安芸の間　Web配信
**演題と講師**
COPD治療のブレイクスルー
－バイオ製剤をどう使うか？－
川崎医科大学　呼吸器内科学
主任教授　小　賀　　徹
**主　催**　呉呼吸ケアセミナー
**連絡先**　呉市医師会　TEL 0823－22－2326
**単　位**　1　**コード**　79

### 第118回医療者がん研修会「子宮がん・卵巣がん診療 up to date」

**と　き**　**11月20日㈭　午後6時**
**ところ**　Web配信
**演題と講師**
HBOC（遺伝性乳癌卵巣癌）診療の実際
広島市民病院　婦人科　部長　依　光　正　枝
AYA世代がん患者支援の実際
広島市民病院　婦人科　副部長　植　田　麻衣子
妊孕性温存の実際
広島市民病院　婦人科　主任部長　鎌　田　泰　彦
**※要申込**
**主　催**　広島市立広島市民病院
**連絡先**　同上（医療支援センター：石原・丸川）
TEL 082－221－2291

### 福山市民病院第5回オープンカンファレンス

**と　き**　**11月20日㈭　午後6時**
**ところ**　福山市民病院　西館　Hall CoRe（ホールコア）
**演題と講師**
福山市民病院　内分泌内科外来の診療
岡山大学病院内分泌センター
非常勤医師　稲　垣　兼　一
**主　催**　福山市民病院教育研修委員会
**連絡先**　福山市民病院（病院総務課）
TEL 084－941－5151

### 第577回広島レントゲンアーベント

**と　き**　**11月21日㈮　午後7時**
**ところ**　オリエンタルホテル広島
**演題と講師**
最近の大動脈瘤治療について（TEVAR/EVARを中心に）
－抗凝固療法を含めて－
広島市立広島市民病院　心臓・大血管低侵襲治療部
主任部長　井　上　知　也
**主　催**　広島レントゲンアーベント事務局
（医療法人社団公仁会　槇殿順記念病院内）
**連絡先**　同上　TEL 082－296－0110

### 日　肝疾患病診連携懇話会

**と　き**　**11月21日㈮　午後7時**
**ところ**　広島赤十字・原爆病院　東棟　講堂
**演題と講師**
B型・C型慢性肝疾患患者の診療とその課題
広島大学病院　肝疾患センター
教授　柘　植　雅　貴
**主　催**　広島赤十字・原爆病院
**連絡先**　同上（教育研修推進室：大木・増田）
TEL 082－241－3111
**単　位**　1　**コード**　12

### 第279回呉消化器病研究会　教育講演及び特別講演

**と　き**　**11月21日㈮　午後7時**
**ところ**　呉市医師会館　講堂
**教育講演1**
当院におけるUnder Water EMR/ESDとGel Immersion Endoscopyの経験
呉医療センター・中国がんセンター　内視鏡内科
水　本　　健
**教育講演2**
最近の胃がん化学療法について
呉医療センター・中国がんセンター　外科
医長　鈴　木　崇　久
**特別講演**
食道運動障害／GERD診療のclinical Update
広島大学病院　内視鏡センター
診療講師　田　中　秀　典
**主　催**　呉消化器病研究会
**連絡先**　呉市医師会　TEL 0823－22－2326

## 学術講演会掲載規定

**1　原稿宛先**
〒732-0057　広島市東区二葉の里3-2-3
広島県医師会広報情報課宛
E-mail：kouhou@hiroshima.med.or.jp　FAX：082-568-2112
電話での掲載依頼は不可（変更に際しても）。

**2　掲載回数**
3回以内　（県医師会速報は毎月5日、15日、25日の発行、掲載希望発行日の2週間前に原稿必着のこと。なお、年末年始、長期休暇の際は早めにお願いします）。

**3　掲載原稿**
E-mail（案内状の添付のみは不可）またはFAXにて送付のこと。
日医生涯教育講座を希望の場合は別途提出のこと。
E-mailでの申し込みについては、受領後3日以内に返信連絡をいたします。万一連絡がない場合には念のため事務局までご連絡ください。

**4　掲載内容**
(1)　講演会名、および演題名に、会社名、商品名の記載があるものは原則不可。
(2)　とき・ところ・演題と講師名・主催・連絡先（名称・TEL）等を明記（会費のある場合は記載を）。
(3)　座長、司会、世話人等は掲載しない。
(4)　シンポジウムはテーマのみ掲載（一般演題のテーマ・演者名は掲載しない）。
(5)　オープンカンファレンスは症例検討または演題のみを掲載（外部講師の場合は役職・氏名を掲載）。
(6)　掲載希望原稿の内容は広報委員会で協議のうえ、掲載の採否、文言を修正することもある。

**5　掲 載 料**
無料。ただし、会社名、商品名等（主催者名、後援名等にかかわらず）が記載してあるものは有料（1回につき5,000円（税別）、3回まで）。
有料掲載の場合は請求先を明記のこと。

広島県医師会広報委員会

学会案内

Web申込可 マークは広島県医師会ホームページからお申し込みいただけます。

## 今号の学会案内


- 日本医師会認定産業医研修会 …… 56
- Web申込可 第3回産業医研修会 …… 58
- Web申込可 第78回広島医学会総会 …… 59
- Web申込可 医師の勤務環境整備に関する病院長・病院開設者・管理者等への講習会 …… 62
- Web申込可 日本医師会認定健康スポーツ医再研修会　県民フォーラム …… 63
- Web申込可 令和7年度自賠責研修会（WEB配信） …… 64
- 市郡地区医師会等が主催する医療安全研修会 …… 65


# 日本医師会認定産業医研修会

（学術課）

■参加希望の方へ　下記の主催・連絡先にお申し込み下さい。
研修会によっては参加費を頂戴します。詳しくは各主催団体へご確認ください。

■単位について　単位は講義終了後、1ヵ月以内にMAMISマイページへ付与します。講義の途中で退席、外出などされた場合は単位付与できませんので、くれぐれもご注意下さい。

| 日時・場所 | 取得単位 | 定員 | 研修内容・講師 | 申込連絡先 |
|---|---|---|---|---|
| 2025年<br>10月30日㈭<br>14：00～16：00<br>会場：広島県医師会館2階<br>201会議室 | 生涯専門　2単位 | 100人 | 「高次脳機能障害の正しい理解と、復職に向けた支援　～リハビリテーションの観点から～」<br>特定医療法人財団　博愛会<br>博愛会病院<br>副院長・回復期リハビリ病棟医長<br>岡﨑　哲也 | 広島産業保健総合支援センター<br>（TEL：082-224-1361）<br>広島市精神保健福祉課<br>（TEL：082-504-2228） |
| 11月1日㈯<br>14：00～16：00<br>会場：広島県医師会館3階<br>301会議室 | 生涯専門　2単位 | 40人 | 「令和7年度広島県アルコール健康障害サポート医養成研修会（第1回）」<br>瀬野川病院　KONUMA記念依存とこころの研究所<br>所長　加賀谷　有行<br>他1名 | 広島産業保健<br>総合支援センター<br>（TEL：082-224-1361）<br>広島県健康福祉局<br>疾病対策課<br>（TEL：082-513-3070） |
| 11月6日㈭<br>14：00～16：00<br>会場：安芸農業会館<br>（サンピア・アキ） | 基礎後期<br>または<br>生涯更新<br>・専門<br>（各1単位）　2単位 | 50人 | Ⅰ「最近の労働行政について」<br>呉労働基準監督署<br>署長　山埜　典文<br><br>Ⅱ「女性がイキイキ働くために知っておきたいこと～男性にこそ知ってもらいたい～」<br>豊田レディースクリニック　院長<br>豊田　紳敬 | 安芸地区医師会<br>（TEL：082-823-4931） |

| 日時・場所 | 取　得　単　位 | 定員 | 研修内容・講師 | 申込連絡先 |
|---|---|---|---|---|
| 11月9日(日)<br>12：30～17：20 | 生涯実地　4単位 | 30人 | ・職場巡視に有用な簡易測定器の取扱いと評価方法（局所排気装置）<br>・職場巡視に有用な簡易測定器の取扱いと評価方法（騒音測定）<br>・産業医面談の実際 | 中央労働災害防止協会<br>中国四国安全衛生サービスセンター<br>TEL：082-238-4707<br>E-mail：<br>chushiko@jisha.or.jp |
| 2026年<br>2月1日(日)<br>12：30～17：20 | 生涯実地　4単位 | 30人 | ・産業医から見る保護具着用管理のポイント（手袋）<br>・ストレスチェックの概要と職場環境改善の進め方 | |
| 3月8日(日)<br>12：30～17：20 | 生涯実地　4単位 | 30人 | ・腰痛予防対策<br>～腰痛予防対策指針に基づくリスクアセスメント、企業の取組事例を中心に～<br>・資源に焦点を当てたコミュニケーション（解決志向アプローチ） | |
| 2025年<br>11月26日(水)<br>19：00～21：00<br>会場:福山市医師会館 | 基礎後期<br>または　2単位<br>生涯専門 | 100人 | 「労働者のアルコール依存症の診断、治療（薬物療法、認知行動療法）から復職支援まで」<br>広島産業保健総合支援センター<br>産業保健相談員　加賀谷　有行 | 福山市医師会<br>総務課（地域医療担当）<br>（TEL：084-922-0243） |
| 12月18日(木)<br>15：00～17：00<br>会場：広島県医師会館2階<br>201会議室 | 生涯専門　2単位 | 100人 | 睡眠セミナー<br>「健康増進を支える睡眠の重要性<br>－産業保健に期待される役割－」<br>国立大学法人　東京科学大学<br>リベラルアーツ研究教育院<br>教授　駒田　陽子 | 広島産業保健<br>総合支援センター<br>（TEL：082-224-1361） |
| 2026年<br>1月14日(水)<br>19：00～20：30<br>会場：福山市医師会館 | 基礎後期<br>または　1.5単位<br>生涯更新 | 100人 | 「最近の労働衛生行政について」<br>福山労働基準監督署長<br>石井　龍児 氏 | 福山市医師会<br>総務課（地域医療担当）<br>（TEL：084-922-0243） |
| 1月17日(土)<br>14：00～16：00<br>会場：広島県医師会館3階<br>301会議室 | 生涯専門　2単位 | 40人 | 「令和7年度広島県アルコール健康障害サポート医養成研修会（第4回）」<br>瀬野川病院　KONUMA記念依存とこころの研究所<br>所長　加賀谷　有行 | 広島産業保健<br>総合支援センター<br>（TEL：082-224-1361）<br>広島県健康福祉局<br>疾病対策課<br>（TEL：082-513-3070） |
| 2月7日(土)<br>14：00～16：00<br>会場：広島県医師会館3階<br>301会議室 | 生涯専門　2単位 | 40人 | 「令和7年度広島県アルコール健康障害サポート医（専門）養成研修会Ⅰ」<br>瀬野川病院　KONUMA記念依存とこころの研究所<br>所長　加賀谷　有行 | 広島産業保健<br>総合支援センター<br>（TEL：082-224-1361）<br>広島県健康福祉局<br>疾病対策課<br>（TEL：082-513-3070） |
| 2月28日(土)<br>14：00～17：00<br>会場：広島県医師会館3階<br>301会議室 | 生涯専門　2単位<br>生涯実地　1単位 | 40人 | 「令和7年度広島県アルコール健康障害サポート医（専門）養成研修会Ⅱ」<br>瀬野川病院　KONUMA記念依存とこころの研究所<br>所長　加賀谷　有行<br>他2名 | 広島産業保健<br>総合支援センター<br>（TEL：082-224-1361）<br>広島県健康福祉局<br>疾病対策課<br>（TEL：082-513-3070） |

# 広島県医師会主催
# 令和7年度　第3回産業医研修会

Web申込可

**と　　き**　**令和7年12月7日(日)　午前10時～午後5時**
**と こ ろ**　**広島県医師会館　1階ホール**（〒732-0057　広島市東区二葉の里3丁目2番3号）
**参加人数**　**200名程度**　※申込み多数の場合、本会会員を優先します。
**対　　象**　医師
**受 講 料**　広島県医師会会員……無料
　　広島県医師会会員以外……5,000円（当日受付にて現金でお支払いください）
**申込期間**　**10月15日(水)～11月10日(月)必着**
**申込方法**　以下のいずれかでお申し込みください。
　　①本会ウェブサイトの申込フォーム
　　②下記申込票をFAX（082-568-2112）で送信。
　　※開催一週間前までに受講票をお送りします。

## 【申込票】

**【申込締切】11月10日(月)必着　【申込先】広島県医師会　学術課　Fax：082-568-2112**

**令和7年12月7日(日)　第3回産業医研修会**

| 時　間 | 研修内容・講師 | 単　位 |
|---|---|---|
| 10：00～<br>12：00 | **「産業医が知っておくべき過重労働対策の現状と課題・今後の展望」**<br>労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所<br>過労死等防止調査研究センター 統括研究員　吉川　　徹 | 基礎・後期<br>または<br>生涯・専門<br>2単位 |
| 13：00～<br>15：00 | **「最近の労働衛生行政について」**<br>広島労働局労働基準部健康安全課長　藤本　泰彦 | 基礎・後期<br>または<br>生涯・更新<br>2単位 |
| 15：00～<br>17：00 | **「裁判事例に学ぶ企業のメンタルヘルス対応について」**<br>㈱日立製作所安全衛生マネジメント推進本部<br>健康経営推進部産業保健推進センタ長　林　　剛司 | 基礎・後期<br>または<br>生涯・専門<br>2単位 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 申込者氏名 | フリガナ | 医籍登録番号 | |
| 医療機関名 | | 生年月日 | 年　月　日 |
| 受講票<br>送付先住所 | 〒　－　（医療機関 ・ 自宅） | | |
| 産業医<br>区分 | どちらかに○をしてください<br>基礎 ・ 更新 | 認定証番号<br>（更新の方） | |
| メールアドレス | | 広島県医師会<br>区分 | 会員 ・ 非会員 |

☑をしてください

**□MAMISのマイページ登録は完了しています**

※未登録の場合は、MAMIS登録後にお申し込みください

# 第78回広島医学会総会

Web申込可

参加をご希望の方は日程表をご確認のうえ、下記二次元コード、または参加申込書により、**令和7年10月31日㈮まで（必着）**にお申し込みください。皆さまのご参加をお待ちしております。

**と　き**　**令和7年11月9日㈰　午前9時30分～午後3時30分**
**ところ**　**広島県医師会館（広島市東区二葉の里3丁目2番3号）**
**問合先**　広島県医師会学術課　TEL 082-568-1511

## 第78回広島医学会総会参加申込書

**締切日：令和7年10月31日㈮（必着）**

広島県医師会　学術課行　　FAX：082-568-2112
E-mail　gaku@hiroshima.med.or.jp

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ<br>申込者氏名 | | 医　籍<br>登録番号 | |
| 医療機関名 | | | |
| 医療機関住所 | 〒<br><br>電話　　E-mail | | |
| 専門医共通<br>講習単位 | □いる　・　□いらない<br>特別講演Ⅰ（13：20～14：20）<br>専門医共通講習（医療倫理）：1単位 / 生涯教育CC2（医療倫理：臨床倫理）1単位 | | |
| 託児室利用 | □あり　・　□なし　　※「あり」の場合　託児希望人数　　名 | | |

| 参加会場に○をつけてください。※複数可 | |
|---|---|
| シンポジウム　9：30～11：30<br>「広島の救急医療体制について考える」※1) | |
| 実地医家のための教育講座（三原市医師会担当）9：30～10：30<br>「急性上気道炎に隠れる細菌感染症を見逃さないためのポイント」※1) | |
| 実地医家のための教育講座（山県郡医師会担当）10：30～11：30<br>「誰もが幸せになれるがん診療を目指して～多職種連携とRPAを活用したタスクシフトシェアのススメ」※1) | |
| 一般演題【ポスター演題（一般・研修医）、ビデオ演題】 | |
| ランチョンセミナー（竹原地区医師会担当）11：50～12：50<br>「2型糖尿病の病態と治療の最前線－最新の知見をふまえて－」※1) | |
| ランチョンセミナー（福山市医師会担当）11：50～12：50<br>「誤嚥性肺炎だけじゃない－サルコペニア・心不全・感染症と向き合うための口腔機能管理と地域連携－」※1) | |
| 特別講演Ⅰ（専門医共通講習）<br>「医療における『法律』と『倫理』～いわゆる「ペイハラ」を踏まえて～」<br>**※参加資格：広島県医師会員**<br>**※定員200名（事前申込必須）定員になり次第締め切ります※1）※2)** | |
| 特別講演Ⅱ（県民公開講座）<br>「認知症本人の想い・家族介護者の想い」※1) | |

※1）日本医師会生涯教育講座　※2）専門医共通講習
各単位は受講履歴（入退室履歴）に基づき付与いたします。途中退室などにより受講確認ができない場合は付与することができませんので予めご了承ください。

**■受講証明について**
**・各講演の受講により上表の単位が認められます。**
**・MAMIS（医師会会員情報システム）」に受講実績（単位）を登録します。**
**・MAMISマイページの研修管理（申請・単位確認等）から受講実績・単位取得状況の確認および受講証明書が出力できます。**

# 第78回広島医学会総会　日程表

**と　き**　令和7年11月9日(日)　午前9時30分～午後3時30分
**ところ**　広島県医師会館
**会　頭**　松村　誠（広島県医師会長）
**学会長**　山本　匡（広島市医師会長）

| 会場 | 第1会場（1階　ホール） | 第2会場（2階　201会議室） | 第3会場（3階　301会議室） | 第4会場（3階　302会議室） | 第5会場（3階　303会議室） |
|---|---|---|---|---|---|
| 9：30 | **シンポジウム** | **実地医家のための教育講座** | **ポスター演題（一般）** | **ポスター演題（研修医）** | **ビデオ演題** |
| | 「広島の救急医療体制について考える」<br>座長：広島市立広島市民病院　副院長　**國弘　真己**<br>コメンテーター：県立広島病院　救急科主任部長　**世良　俊樹**<br>基調講演<br>「広島市の救急医療提供体制について」<br>広島市健康福祉局保健部医療政策課<br>課長　**小磯　卓也**<br>パネルディスカッション<br>1）広島市民病院　救急医療体制の実情<br>広島市立広島市民病院　救命救急センター長<br>**内藤　博司**<br>2）県立広島病院における救急医療体制の現状<br>～救急科を中心に～<br>県立広島病院　救急科主任部長　**世良　俊樹**<br>3）新たな地域医療構想に向けて<br>～つなぐ医療の推進～<br>広島市立舟入市民病院　副院長　**松村　俊二**<br>4）広島県北西部地域の住民が安心して生活するための地域密着型救急<br>広島市立北部医療センター安佐市民病院<br>副院長　**加藤　雅也**<br>5）救急医療提供体制の現状と課題<br>福山市民病院　副院長兼救命救急センター長<br>**貞森　裕**<br>6）市立三次中央病院における救急医療の現状<br>市立三次中央病院　副院長　**田中　幸一**<br>(9：30～11：30　生涯教育　CC0　最新のトピックス・その他　2単位) | 担当：三原市医師会<br>「急性上気道炎に隠れる細菌感染症を見逃さないためのポイント」<br>講師：三原市医師会病院　内科<br>副部長　**稲田　修吾**<br>座長：三原赤十字病院　統括管理監<br>**寺面　和史**<br>(9：30～10：30　生涯教育　CC8　感染対策　1単位)<br><br>担当：山県郡医師会<br>「誰もが幸せになれるがん診療を目指して～多職種連携とRPAを活用したタスクシフトシェアのススメ」<br>講師：広島市立北部医療センター<br>安佐市民病院　乳腺外科主任部長<br>**恵美　純子**<br>座長：医療法人社団慶寿会千代田中央病院<br>理事長　**北尾憲太郎**<br>(10：30～11：30　生涯教育　CC10　チーム医療　1単位) | 各演題7分以内<br>（討論質疑を含める） | 各演題7分以内<br>（討論質疑を含める） | 各演題10分以内<br>映写7分<br>質疑3分以内 |
| | | | **発表** | **発表** | **発表** |
| | | | 9：30～12：11 | 9：30～10：54 | 9：30～10：30 |
| 10：00 | | | ポスターセッション1 | ポスターセッション6 | ビデオセッション1 |
| 10：30 | | | A1～ A4<br>杉本　智裕<br>広島大学病院リウマチ・膠原病科学　助教 | F1～ F4<br>岩本　博志<br>広島大学大学院分子内科学　准教授 | I1～ I3<br>桑井　寿雄<br>広島大学病院消化器内視鏡医学講座　教授 |
| | | | ポスターセッション2 | ポスターセッション7 | ビデオセッション2 |
| | | | B1～ B4<br>鳥居　剛<br>NHO広島西医療センター副院長 | G1～ G4<br>菅野　啓司<br>広島大学病院総合診療医学　診療教授 | J1～ J3<br>浜井　洋一<br>広島大学原爆放射線医科学研究所腫瘍外科　診療准教授 |
| 11：00 | | | ポスターセッション3 | ポスターセッション8 | |
| | | | C1～ C5<br>溝岡　雅文<br>JA広島総合病院統括副院長 | H1～ H4<br>住吉　辰朗<br>広島大学大学院外科学　助教 | |
| | | | ポスターセッション4 | | |
| | | | D1～ D5<br>岡本　涉<br>広島大学病院がん化学療法科学　教授 | | |
| | | | ポスターセッション5 | | |
| | | | E1～ E5<br>小林　剛<br>広島大学大学院消化器・移植外科学准教授 | | |
| 11：50 | **ランチョンセミナー** | **ランチョンセミナー** | | | |
| | 担当：竹原地区医師会<br>「2型糖尿病の病態と治療の最前線<br>ーー最新の知見をふまえてーー」<br>講師：広島赤十字・原爆病院<br>内分泌・代謝内科部長　**亀井　望**<br>座長：呉共済病院　忠海分院<br>分院長　**近藤　圭一** | 担当：福山市医師会<br>「誤嚥性肺炎だけじゃない<br>ーサルコペニア・心不全・感染症と向き合うための口腔機能管理と地域連携ー」<br>講師：猪原［食べる］総合歯科医療クリニック<br>理事長・歯科医師　**猪原　健**<br>座長：脳神経センター 大田記念病院<br>院長・放射線科部長　**田中　朗雄** | | | |
| 12：50 | (11：50～12：50　生涯教育　CC76　糖尿病　1単位) | (11：50～12：50　生涯教育　CC47　誤嚥　1単位) | | | |
| 13：00 | **総会議事** | | | | |
| | | | | | |
| 13：20 | **特別講演Ⅰ** | | | | |
| 14：20 | 「医療における『法律』と『倫理』～いわゆる「ペイハラ」を踏まえて～」<br>講師：関谷・宗像法律事務所　弁護士　**宗像　雄**<br>座長：広島医学会　会頭　**松村　誠**<br>(13：20～14：20　生涯教育　CC2　医療倫理：臨床倫理　1単位)<br>【専門医共通講習：医療倫理　1単位】 | | | | |
| | **休憩** | | | | |
| 14：30 | **特別講演Ⅱ　（県民公開講座）** | | | | |
| | 「認知症本人の想い・家族介護者の想い」<br>講師：メモリーケアクリニック湘南　名誉顧問　**繁田　雅弘**<br>座長：第78回広島医学会総会学会長　**山本　匡**<br>(14：30～15：30　生涯教育　CC29　認知能の障害　1単位) | | | | |
| 15：30 | 閉　会 | | | | |

**1階にて各種ブースを開設します。**
- **糖尿病に関するパネル展示**
- **HMネット**
- **Women's Cafe ～ not for women only ～**

# 第78回 広島医学会総会

会頭 松村　誠（広島県医師会長）　学会長 山本　匡（広島市医師会長）

とき 令和7年 11月9日(日) 9:30-15:30

ところ 広島県医師会館

## 9:30〜11:30 | シンポジウム

### 広島の救急医療体制について考える

座長：広島市立広島市民病院 副院長　國弘 真己
コメンテーター：県立広島病院 救急科 主任部長　世良 俊樹

【基調講演】広島市の救急医療提供体制について
広島市健康福祉局保健部 医療政策課 課長　小磯 卓也

【パネルディスカッション】
1.広島市民病院 救急医療体制の実情
広島市立広島市民病院 救命救急センター長　内藤 博司
2.県立広島病院における救急医療体制の現状〜救急科を中心に〜
県立広島病院 救急科 主任部長　世良 俊樹
3.新たな地域医療構想に向けて〜つなぐ医療の推進〜
広島市立舟入市民病院 副院長　松村 俊二
4.広島県北西部地域の住民が安心して生活するための地域密着型救急
広島市立北部医療センター安佐市民病院 副院長　加藤 雅也
5.救急医療提供体制の現状と課題
福山市民病院 副院長兼救命救急センター長　貞森　裕
6.市立三次中央病院における救急医療の現状
市立三次中央病院 副院長　田中 幸一

生涯教育講座　カリキュラムコード：0（最新のトピックス・その他）2単位

## 9:30〜11:30 | 実地医家のための教育講座

三原市医師会

### 急性上気道炎に隠れる細菌感染症を見逃さないためのポイント

三原市医師会病院 内科 副部長　稲田 修吾

生涯教育講座　カリキュラムコード：8（感染対策）1単位

山県郡医師会

### 誰もが幸せになれるがん診療を目指して 〜多職種連携とRPAを活用したタスクシフトシェアのススメ

広島市立北部医療センター安佐市民病院 乳腺外科主任部長　恵美 純子

生涯教育講座　カリキュラムコード：10（チーム医療）1単位

## 11:50〜12:50 | ランチョンセミナー

竹原地区医師会

### 2型糖尿病の病態と治療の最前線−最新の知見をふまえて−

広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科部長　亀井　望

生涯教育講座　カリキュラムコード：76（糖尿病）1単位

福山市医師会

### 誤嚥性肺炎だけじゃない −サルコペニア・心不全・感染症と向き合うための口腔機能管理と地域連携−

猪原[食べる]総合歯科医療クリニック 理事長・歯科医師　猪原　健

生涯教育講座　カリキュラムコード：47（誤嚥）1単位

## ◆ 特別講演 Ⅰ　13:20〜14:20

### 医療における『法律』と『倫理』 〜いわゆる「ペイハラ」を踏まえて〜

関谷・宗像法律事務所 弁護士　宗像　雄

専門医共通講習:医療倫理　1単位
生涯教育講座　カリキュラムコード：2（医療倫理：臨床倫理）1単位

## ◆ 特別講演 Ⅱ(県民公開講座)　14:30〜15:30

### 認知症本人の想い・家族介護者の想い

メモリーケアクリニック湘南 名誉顧問　繁田 雅弘

生涯教育講座　カリキュラムコード：29（認知能の障害）1単位

## ◆ 一般演題

一般セッション（ポスター演題・ビデオ演題）
研修医セッション（ポスター演題のみ）

## 参加申し込み方法

参加希望者は、下記のHPよりお申し込みください。

HP
第78回広島医学会総会　検索

参加申込締切日
令和7年 10月31日(金)必着

お申し込みはこちらから

託児室あり 要予約（10月17日まで）
当日、会場に託児室をご用意しております。（託児利用時間は9時30分〜15時30分）ご利用の方は申込時に「託児室利用」と記入し、お子様の人数・年齢もあわせてご記入下さい。尚、準備の都合上、10月17日までにお申し込みください。

★会館１Fホワイエ周辺にて各種ブース開設★
（ウィミンズカフェ 9:30〜12:00）

■主催 広島医学会
広島市東区二葉の里3丁目2番3号
TEL(082)568-1511
事務局　広島県医師会学術課

# 医師の勤務環境整備に関する病院長・病院開設者・管理者等への講習会

Web申込可

**と　　き**　令和7年11月21日㈮　午後7時～午後8時15分

**と こ ろ**　広島県医師会館3階301会議室およびWeb（Zoom）のハイブリッド開催

**講　　演**　「自治体病院の運営と経営：地方独立行政法人になってできたこと」
講　師：埼玉県立病院機構　理事長　岩中　督

**単　　位**　生涯教育単位（CC：0）1単位
※単位取得希望の場合、事前にMAMISのマイページ登録が必須となります。

**申込方法**　11月14日㈮までに広島県医師会ホームページ（右の二次元コード）からお申し込みいただくか、下記申込用紙をFAX（082-568-2112）でお送りください。

**主　　催**　広島県医師会　女性医師部会

**問合せ先**　広島県医師会　学術課
（TEL：082-568-1511、E-mail：gaku@hiroshima.med.or.jp）

---

広島県医師会 学術課　行
（FAX 082-568-2112）

## 申込用紙

Web申込可 医師の勤務環境整備に関する病院長・病院開設者・管理者等への講習会（11/21㈮）

| 医療機関名 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 氏　名 | 職　種 | MAMIS マイページ登録（✔を入れる） | 参加形式（どちらかに○） | メールアドレス |
| | | □ | 会場 ・ Web | |
| | | □ | 会場 ・ Web | |
| | | □ | 会場 ・ Web | |

＊どなたでもご参加いただけます。参加費は無料です。
＊Web参加の方はメールアドレスをご記入ください。
＊託児所を設置します。設置準備の都合もございますので、ご希望の方は10月31日㈮までに広島県医師会学術課までご連絡ください。

# 広島県医師会主催
# 令和7年度 日本医師会認定健康スポーツ医再研修会
# 県民フォーラム

Web申込可

**と　き**　令和7年12月20日(土)　午後6時～午後7時10分
**ところ**　広島県医師会館1階ホール　（広島市東区二葉の里3-2-3）
**内　容**　演題：スポーツビジネスの成功の秘訣と将来の広島エンターテーメント戦略
演者：株式会社広島ドラゴンフライズ　代表取締役　社長　浦　伸嘉
要旨：世界のスポーツビジネスの成長背景として資産価値やアリーナ建設を示し、日本バスケットボールの歩みとB. LEAGUE誕生後の発展を解説。さらに広島ドラゴンフライズの挑戦と成長を、クラブ哲学や組織論を通じて紹介。競技力と経営の両立を実現した事例から、普遍的なスポーツクラブ経営の学びを提示する。
**定　員**　150名程度
**対　象**　日本医師会認定健康スポーツ医、医師、医療従事者、県民
**単　位**　◆日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会1単位（申請中）
◆生涯教育単位（CC：0）1単位
**申込方法**　①本会ウェブサイトの申込フォーム
（右の二次元バーコードよりお申込みいただけます）
②下記【申込票】をFAX（082-568-2112）に送信
**注意事項**　開催1週間前までに受講票をお送りします。当日必ずご持参ください。

---------- 【申　込　票】 ----------

## 令和7年度日本医師会認定健康スポーツ医再研修会・県民フォーラム
## 12月20日(土)　午後6時～午後7時10分

**【申込締切】12月5日(金)必着　【申込先】広島県医師会　学術課　Fax：082-568-2112**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 申込者氏名 | フリガナ | 医籍登録番　号 | |
| 医療機関名 | | | |
| 受講票送付先住所 | 〒　　－<br><br>TEL<br>※（ 施設 ・ 自宅 ）どちらかに○をしてください。 | | |
| MAMIS | □　マイページ登録完了 | ※「✔」を入れてください<br>※未登録の場合はMAMIS登録後にお申込みください | |

# 令和7年度自賠責研修会（WEB配信）

## 公益社団法人日本医師会・一般社団法人日本損害保険協会・損害保険料率算出機構　Web申込可

近年における交通事故及び自動車保険の概況や自賠責保険制度の成立ち、損害調査の流れなど、基本的事項に関する自賠責研修会（WEB動画）について日本医師会より案内がありました。

**内　　容**　(1)　学術講習テーマ「交通事故診療を巡る諸問題」（約73分）
講師：順天堂大学医学部整形外科・スポーツ診療科　井上　久
(2)　自賠責講習テーマ「自賠責保険（共済）のしくみ」（約55分）
講師：損害保険料率算出機構自賠責損害調査センター　清水　友菜

**対　　象**　会員医師（会員所属医療機関職員も可）

**申込期間**　**令和7年10月10日㈮～令和7年11月12日㈬迄**
**【延期しておりました募集を10月10日から開始しております】**

**動画視聴可能期間**　**令和8年1月23日㈮　18時迄**

**【留意事項】**
**オンラインシステムの仕様上、同一アドレスで複数名の申込ができません。必ず、受講者1名ごとに個人メールアドレスで申込ください。**

**【本会への申込み受付後、受講の流れ】**
11月中旬に一括して日本損害保険協会へ申込書を提出します。その後、原則5営業日程度で**日本損害保険協会から申込みされたメールアドレス宛にログインパスワードおよびシステム操作方法のマニュアルが送付**されます。なお、ログインパスワードはinfo@etudes.jpから、システム操作方法のマニュアルはsongyou-j@sonpo.or.jpから送信されますので、ご確認のうえ、所定の設定（パスワードの再設定等）を行っていただき、令和8年1月23日㈮18時迄に動画をご視聴いただきますようお願い致します。なお、受信拒否機能を利用されている場合、両メールが受信できるよう設定してください。

**～視聴期限がありますので**
**11月末までに日本損害保険協会からメールが届かない場合は速やかにお問い合わせください～**

**申込み方法**
広島県医師会ホームページトップ → 医師のみなさまへ → 研修会・講習会 >
参加申し込みページ 「令和7年度自賠責研修会（WEB配信）」からお申し込みください。
https://www.hiroshima.med.or.jp/forms/2026/0123_jibaiseki/
※申込後、**自動返信メールが届かない場合（受付できいてない）は、本会へご連絡**ください。

**問　合　先**　①研修会申込みに関すること
広島県医師会保険医事課（TEL：082-568-1511　FAX：082-568-2112）
②オンラインシステムの利用に関すること（パスワード再設定・動画視聴など）
一般社団法人日本損害保険協会損害サービス企画部
自動車グループ（TEL：03-3255-1226　E-mail：songyou-j@sonpo.or.jp）

**～日本損害保険協会よりの注意事項～**
- **原則社用個人メールアドレスとします。社用個人メールアドレスを持たない受講者のみプライベートの個人メールアドレスを申請してください。また、ユーザIDを複数名で共有すること、ユーザIDを他人に貸与することを禁止します。発覚した場合は本システムからユーザID登録を抹消します。**
- **利用にかかる通信料は受講者ご自身でご負担ください。**
- **研修内容の録音・録画（スクリーンショット等）、および資料の2次利用、SNS等への投稿は禁止です。**

新企画

# 市郡地区医師会等が主催する医療安全研修会

広島県医師会では、平成26年度より市郡地区医師会が開催する医療安全研修会に対し、研修一覧を提供して講師に係る費用を補助する制度を創設し、広島県内の医療安全機運の向上を目指しています。研修会のWeb開催が主流となった現在において、より多くの会員に医療安全研修の機会を確保するため、令和7年度より他地区からの研修希望者の受け入れを条件といたしました。

無床診療所においては、医療法で定められている医療安全に係る従業員研修にもご利用いただけますので、医師だけでなく医療従事者の方も、気になる研修がある場合は、ぜひ、主催する市郡地区医師会に申し込んでください。

| 日　程 | | 開催方法 | 研　修　内　容 | | 全体定員（他地区定員） | 主催医師会問合先 | Web申込 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和7年 | 11/27㈭ 19：00 | Web 現地 | 演題 | 成人肺炎に対する治療と院内感染対策 | 50名（25名） | 呉市医師会 0823-22-2326 | |
| | | | 講師 | 県立広島病院　副院長　石川　暢久 | | | |
| | 12/4㈭ 19：00 | Web 現地 | 演題 | 物価上昇リスクに備える医業経営 | 50名（20名） | 府中地区医師会 0847-45-3505 | |
| | | | 講師 | AIXコンサルティング㈱ 代表取締役　小原　崇禎 | | | |
| | 12/23㈫ 19：00 | Web | 演題 | 医師が語る　誤嚥防止～摂食嚥下とは～ | 50名（20名） | 竹原地区医師会 0846-22-9377 | |
| | | | 講師 | 東京医科歯科大学　歯学部　臨床教授 中根　綾子 | | | |
| 令和8年 | 2/12㈭ 19：00 | Web | 演題 | カスタマーハラスメントと応招義務 | 200名（50名） | 安佐医師会 jimu@asaishikai.jp | |
| | | | 講師 | 広島県医師会医事紛争委員会 弁護士　前川　秀雅 | | | |

◯他地区からの参加は、Web参加を原則とします。

◯開催地区の事情により、他地区からの受入可能人数はそれぞれです。気になる研修会がある場合は、早めの申し込みをしてください。

## 救急小冊子「知っておきたい こころの救急」

働く人のメンタルヘルスについて取り上げています
ぜひ産業医業務にお役立てください

小冊子は二次元コードからご注文ください
PDFでもご覧いただけます

## 医療安全研修ってしなきゃいけないの??

全ての医療機関は次の4つの安全管理体制※の確保が義務づけられており、指針の策定等が必要です。医療機関として、安全管理体制をしっかり整備しましょう!!

**【根拠法令：医療法第6条の12（管理者が講ずべき措置）】**

病院等（病院、診療所又は助産所）の管理者は、厚生労働省令で定めるところにより、医療の安全を確保するための指針の策定、従業者に対する研修の実施その他の当該病院等における医療の安全を確保するための措置を講じなければならない。

（参考）

| 項　　目 | 指針の策定 | 体制の確保等 | 従業員研修 | そ の 他 |
|---|---|---|---|---|
| 安全管理体制 | 医療安全指針の策定 | 医療安全委員会の設置（※2） | 年2回程度実施する他、必要に応じて実施（※3） | インシデント（ヒヤリ・ハット）報告、事故報告等（※4） |
| 院内感染対策（※1） | 院内感染対策指針の策定 | 院内感染対策委員会の設置（※2） | 年2回程度実施する他、必要に応じて実施（※3） | 感染症の発生状況の報告、院内感染マニュアルの整備 |
| 医薬品安全管理 | 医薬品業務手順書の作成 | 医薬品安全管理責任者の配置 | 必要に応じて実施（※5） | 医薬品安全使用のための情報収集等 |
| 医療機器安全管理 | 医療機器保守点検計画の作成 | 医療機器安全管理責任者の配置 | 新機器導入時ほか必要に応じて実施（※5） | 医療機器安全使用のための情報収集等 |

※1　医療安全管理と一体的に実施可。
※2　無床診療所においてはその委員会の設置は任意。
※3　無床診療所においては院外研修での代用も可。
※4　死亡・死産の場合は、必ず管理者（院長）に報告する。
※5　医薬品安全管理、医療機器安全管理、医療ガス安全管理に係る研修は、他の研修と併せて実施してもよい。

**医療安全への対応は、どんどん進化しています。**
**昔の情報だけでは、No!!**
**最新情報を常にキャッチし、患者が安心して通える医療機関を作りましょう!!**
**医師だけでなく医療機関スタッフにも声をかけて、**
**ぜひ、知識のアップデートをしてください。**


## 日本医師会ORCA管理機構
## 医療現場のICT化を推進するORCAプロジェクトは新たなステージへ

ORCAプロジェクトは発足から20年以上が経過し、医療現場の「安心」と「安全」を考えた、次世代医事会計サービス　**WebORCAクラウド版**をリリースし、画面や操作感はそのままに快適な動作スピードを実現、在宅医療や往診など、診療スタイルの変化、モバイルデバイスの充実など、取り巻く環境の変化に一早く対応しています。
詳しくは下記ORCA管理機構のホームページをご確認ください。

WebORCA

ORCA公式ホームページ　WebORCAクラウド版
https://www.orca.med.or.jp/

## 編　集　室

# 素晴らしきかな、日本人！

この年になって、初めて知ったことがある。

「おはようございます」という挨拶は、「お早く（＝早く）＋う（終助詞）」が由来で、「あなたはお早いですね」という意味だと学校で習ったし、ずっとそうだと思っていた。

先日、映画「国宝」を見た。人間国宝になった、歌舞伎俳優とその周囲の人たちの生きざまを描いた映画だ。その映画の中で、夜の舞台だったと思うが、みな「おはようございます」と挨拶をしている事にふと気が付いた。「夜なのに、なぜ、おはようございますなのだろう？」と気になり、ネット検索をしてみた。「今日の『おはようございます』は、「お早くからご苦労さまでございます。」の省略形だという記事を発見した（「日本文化いろは事典」）。

そして、なんと、その「おはよう」の挨拶は、歌舞伎が由来だというのだ（国立音楽大学附属図書館広報委員会「歌舞伎から生まれた言葉」）。裏方や格下の役者さんたちへのねぎらいの思いをこめて「お早くから、ご苦労さまでございます」というあいさつをしていたのが、省略されて「おはようございます」として広まったという説だ。「こんにちは」は、「今日は（こんにちは）、お加減はいかがですか？」などの全文が、後半部分が省略されて「こんにちは」となったとの説がある（「語源由来辞典」）。

なんて、美しい言葉であろうか！相手へのねぎらい、気遣い、思いやりがあふれている。

私たちは、このように美しい言葉を操る、相手を思いやることができる、崇高な精神をもつ日本人なのだ！素晴らしいと心から思う。

それがどうしたことか、最近は、相手の事より自分の利益をまず考える風潮が見える。「直・美」という言葉をお聞きになったことがあるだろうか。

医学部を卒業し、2年間初期研修医を務める。その間に、「医師」として研修していくための最低限の基礎知識を習得する。そして、いよいよ、医師として専門的に研鑽してゆく後期研修医（専攻医ともいう）になるところで、美容外科のクリニックなどに就職してしまう。そういう医師たちを「直・美」（直接、美容外科）と呼ぶ。

確かに、自分の人生は豊かであるべきで、「ライフ・ワークバランス」は大切である。

しかし、自分の事を考える前に、あなたたちが医師になるために、血税を注ぎ込んでくれた人たちのことを考えてほしい。その人たちの健康を守ることが、日本の医師に課せられた責務だと、私は思う。何年でもいい。まず、その人たちのために医師としての責務を果たし、自分の思うような人生を生きてほしい。私たちは、まず、相手の事を思いやることができる、「日本人」なのだから。

（天野　純子）

広島県医師会速報　2025年（令和7年）10月25日
●発行所／一般社団法人　広島県医師会　〒732-0057　広島市東区二葉の里三丁目2番3号　TEL：082-568-1511 FAX：082-568-2112
広島県医師会HP　https://www.hiroshima.med.or.jp/　E-mail：kouhou@hiroshima.med.or.jp
●編集者／広島県医師会長　松　村　　誠
（広報委員）豊田　紳敬、上野　宏泰、宇高　　毅、加藤　　誓、金沢　郁夫、河村りゅう、住居晃太郎、
隅田ますみ、津村　　清、中元　宏史、光野　雄三、岩崎　泰政、土谷　治子、正岡　良之
●印刷所／レタープレス株式会社　〒739-1752　広島市安佐北区上深川町809番地の5　TEL：082-844-7500　FAX：082-844-7800